

授業科目名	子どもと情報メディア	科目コード	K0404L04
英文名	Children and Information Media		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 情報化対応
------	------------------------

職名	教授 教授 教授	担当教員名	彼谷 環 松山 友之 大藪 敏宏
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	4年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>子どもにとって身近な情報メディアである新聞やTV、インターネットと情報倫理との関係を学ぶとともに、教育現場における情報機器の活用法についても学ぶ。新聞を用いた授業（NIE）では、教材としての新聞を素材にした議論のあり方と、記事を読み解くメディアリテラシーの向上を図る。また、近年学校現場では、ICTを活用した授業が展開され、プログラミング教育も導入されることから、新たな技法の習得も目指す。くわえて、依然として問題視される「ネットいじめ」やネット犯罪にも焦点を当て、「子どもの権利条約」の精神に根ざした授業を展開する。 （大藪・中・高等学校教諭の実務経験あり、松山：中学校教諭・小中学校教頭の実務経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	メディアリテラシー	ICTの活用	NIE	新聞	プログラミング学習
-------	-----------	--------	-----	----	-----------

到達目標	<p>さまざまな情報メディアがあふれる今日、適切な情報を適切な手段で獲得し、日常生活や教育現場で有効且つ適切に活用できることは重要なリテラシーである。授業では、新聞、TV、インターネット、携帯などの様々な情報メディアを対象として、メディアとそこから得られる情報の適切な取り扱いについて学び、情報活用のための判断力を養うことができる（70％）。</p>				
	<p>学校現場で活用できる新たな情報機器についての技術と指導法を習得することができる（30％）。</p>				

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）		教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養		4.子ども育成の研究		

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス(彼谷) 現代における子どもと情報メディアとの関わり	
	【予習】現代の子どもを取り巻く情報トラブルについて調べておく。	30分
	【復習】学校教育機関で求められている情報教育の内容と課題について考えてみる。	60分
第2回	教材としての新聞(大藪) NIEの意義	
	【予習】新聞を紙版で読み、教材になる新聞記事を探す。	30分
	【復習】授業中に出てきた専門的用語等について辞事典で調べて授業を振り返る。	30分
第3回	新聞と公論(大藪) 新聞を読んで議論しよう	
	【予習】新聞を読み、自分の意見をまとめて議論を構想する。	30分
	【復習】授業中に出てきた専門的用語等について辞事典で調べて授業を振り返る。	30分
第4回	アナログメディアとデジタルメディアの違い(大藪) メディアリテラシーの観点	
	【予習】アナログの新聞とネット上のニュースとの双方をよく読んで、双方の違いを見つける。	30分
	【復習】授業中に出てきた専門的用語等について辞事典で調べて授業を振り返る。	30分
第5回	NIEによる人間社会理解(大藪) メディアリテラシーの重要性	
	【予習】複数の新聞を読み比べることで、記事の違いを発見する。	30分
	【復習】新聞におけるアナログメディアとデジタルメディアの違いとNIEの課題について、レポートをまとめる。	180分
第6回	授業に活かすNIE(大藪) NIEの実践例と模擬授業	
	【予習】NIEの実践例を調べて、模擬授業の指導案を構想する。	30分
	【復習】授業中に出てきた専門的用語等について辞事典で調べて授業を振り返る。	30分
第7回	知的財産権(彼谷) 著作権・特許権・肖像権 拡大する人権 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】教育現場で関連する著作権の種類について調べておく。	30分
	【復習】最新の著作権法のポイントをまとめる。	60分
第8回	情報倫理(彼谷) ネット社会のなかで考えるマナーとセキュリティ (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)	
	【予習】SNSが介在する学校で生じ得る具体的問題をあらかじめ調べておく。	30分
	【復習】文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」について整理する。	60分

第9回	プログラミングの実践（外部講師・高専での実務経験教員） 学校現場での先進的事例に触れる。	
	【予習】学校におけるプログラミング教育の在り方について、学習指導要領等で調べておく。	30分
	【復習】実際の学校現場のプログラミング教育の実践をもとに、どのような授業を実践すればよいか考えをレポートにまとめる。	60分
第10回	学校における思考ツールの活用と授業（松山）	
	【予習】学校で活用されている情報メディアや思考ツールについてどのようなものがあるか情報収集する。	30分
	【復習】授業での情報メディアや思考ツールの活用についてレポートにまとめる。	60分
第11回	ICTの活用と情報メディアの効果的な利用及び学習環境の整備（松山）	
	【予習】学校におけるICTの活用について発表できるように先進校の（携帯電話、タブレット、電子黒板）取り組みを調査する。興味のあるテーマに関して画像を撮影してくる。	60分
	【復習】学校で授業を行う場合のICTの活用について携帯電話、タブレット、電子黒板を利用した授業の計画を立てる。	60分
第12回	学校におけるタブレットの活用とこれからの授業（松山）	
	【予習】タブレットの活用について、先進校の取り組みを調べる。授業の計画でタブレットを効果的に活用できる画像や動画を撮影してくる。	60分
	【復習】タブレットを活用した授業について調べたことをもとに授業での活用法について考えレポートにまとめる。	60分
第13回	プログラミング教育の現状とこれから、情報リテラシーとスクラッチなどの活用（松山）	
	【予習】スクラッチをパソコンに導入する。基本操作に慣れる。	60分
	【復習】スクラッチを使って、簡単なプログラムを作成し、プログラミング学習での活用についてまとめる。	60分
第14回	情報教育に関する情報メディアやツールの活用とコミュニケーション能力の育成（松山）	
	【予習】情報をメディアやツールをどのように活用しているか、発表できるように情報教育の先進校の取り組みなどを調査する。	60分
	【復習】得られた情報をもとにコミュニケーション能力の育成に関してレポートにまとめる。	60分
第15回	「子どもが選ぶニュース」とSDGsとの関係性の発見（彼谷）	
	【予習】「子どもたちが選ぶニュース」を想定し、あらかじめ選んだニュースの概要を児童生徒に説明できるよう準備する。	30分
	【復習】子どもたちの未来をどうデザインしていくか、海外の例も参考に自分の意見をまとめる。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 及び では、授業中の積極的態度（50%）、授業中に指定する課題を中心に評価する（50%）。 人間性：50%、 専門性：50% 評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて参考書・プリント・文献等を提示する。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<p>日々新聞に目を通し、時事問題に対する自己の意見を構築できるようトレーニングしてください。 学校におけるICTの活用などの情報を収集しておいてください。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーで対応</p>		
オフィス・アワー	<p>彼谷 水曜10:50～12:20 大藪 火曜14:50～16:20 松山 木曜10:50～12:20</p>		

授業科目名	現代社会と生きがい	科目コード	K0610P03
英文名	Contemporary Society & Reasons for Living		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 少子高齢化対応		
------	--------------------------	--	--

職名	教授 准教授	担当教員名	大藪 敏宏 相山 馨
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	4限目
開講時期	3年・4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	産業革命後の社会構造の変化にともなう福祉国家の登場なしには、現代の高齢化を考えることはできない。授業では、現代社会の特性を理解するとともに、社会保障制度の公共性と安心できる生活について議論する。また、現代の少子高齢化社会における乳幼児期から高齢期までの生活課題について学び、それぞれのライフステージにおいて、どうしたら社会との関係を取り結びながら生きがいをもって自分らしい生き方ができるのかを考える。			
-------	--	--	--	--

キーワード	産業革命	現代社会	福祉国家	ライフステージ	生きがい
-------	------	------	------	---------	------

到達目標	・産業革命後の福祉国家の登場に至る経緯を理解する。				
	・少子高齢社会におけるライフサイクルの変化と生きがいについて考察することができる。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）	4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
/	/			/

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 現代社会と生きがい 概要と履修上の注意点	
	【予習】社会学のテキスト等で、現代社会の特質について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、現代社会の特質や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第2回	現代社会と社会問題 新しい貧困と生き難さ	
	【予習】社会学のテキスト等で、現代の貧困の特質について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、現代の貧困や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第3回	現代社会と社会問題 子どもへのまなざしと高齢者へのまなざし	
	【予習】社会学のテキスト等で、子どもや高齢者などの社会的弱者の問題状況を調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、社会的弱者の問題や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第4回	共生社会と生きがい むらの生活と価値観	
	【予習】社会学のテキストで、地域社会の変化について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、地域社会の変化や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第5回	共生社会と生きがい 地球時代の生活と価値観	
	【予習】社会学のテキスト等で、共生社会と権利について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、共生社会と権利や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第6回	「異なったものの共存」と共生社会	
	【予習】社会学のテキスト等で、共生社会の課題について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、共生社会の課題や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第7回	市民社会の成立構造の中での生きがいの考察	
	【予習】社会学のテキスト等で、社会問題と生きがたさについて調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、社会問題と生きがたさや学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第8回	夜警国家の時代の社会と人権	
	【予習】社会学のテキスト等で、夜警国家について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、夜警国家や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
第9回	福祉国家の時代の人権と生きがい	
	【予習】社会学のテキスト等で、福祉国家について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、福祉国家や学んだ内容をノートにまとめる。	30分

	現代の社会問題と生きがい	
第10回	【予習】社会学のテキスト等で、社会問題のとらえ方について調べる。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、社会問題のとらえ方や学んだ内容をノートにまとめる。	30分
	ライフステージにおけるつながり 幼年期と少年期	
第11回	【予習】ライフステージに関する文献を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
	ライフステージにおけるつながり 青年期	
第12回	【予習】ライフステージに関する文献を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
	ライフステージにおけるつながり 壮年期と中年期	
第13回	【予習】ライフステージに関する文献を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
	ライフステージにおけるつながり 高年期	
第14回	【予習】ライフステージに関する文献を読む	30分
	【復習】講義内容を振り返り、学んだ内容をノートにまとめる	30分
	まとめ	
第15回	【予習】まとめてきた内容を振り返る	30分
	【復習】講義の全体を振り返り、学んだことを整理する	30分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	担当教員ごとの個別評価を合わせて総合評価する。(平常点(20%)、レポート・試験(80%)) 個別評価に一つでもFがある場合は、総合評価をFとする。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	社会福祉士養成講座編集委員会編『社会理論と社会システム』(新・社会福祉士養成講	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	予習・復習を必ずすること。授業で登場した消化不良の言葉については質問するか、図書館等で調べて消化すること。保育・教育・福祉の3分野等広い視野に留意し、「共生社会」を意識していくこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に、研究室等で随時受け付けます。		
オフィス・アワー	水曜2限 研究室		

授業科目名	キャリア支援講座 (B)	科目コード	K0704F04
英文名	Career Planning and Support III		

科目区分	キャリア系科目
------	---------

職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日 木曜日	時限	5限目 5限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	「キャリア支援講座」をふまえて幼稚園教諭、保育士、保育教諭の専門職を本格的に目指し、「なりたい自分」に向けて、実技指導や模擬試験、模擬面接、短文論述、集団討論等の受験対策を行う。			
-------	---	--	--	--

キーワード	なりたい自分	就職活動	採用試験対策	自主研修
-------	--------	------	--------	------

到達目標	採用試験合格(内定)に向けて、積極的に就職活動を行うことができる(60%)			
	互いに励ましながら、それぞれが主体的に採用試験勉強、短文論述や面接の練習に取り組むことができる。(30%)			
	履歴書や面接シート、受験報告書や進路決定届などの書類を適切な時期に記入し、幼保分野教員とキャリア支援センターに提出することができる。(10%)			
	・就職活動届：見学日や採用試験日が決まったら、活動のたびに何度でも入力・送信してください ・就職活動届(保育・幼児教育分野) ・就職活動届(小学校教育分野)			
	・結果報告届：採用試験の結果(1次、2次、3次...)が届いたら、途中経過をその都度入力・送信してください 「学籍番号.氏名.受験報告書」(結果報告届にアップロード必須になっています。ファイル名に学籍番号と氏名を付けてください) 「学籍番号.氏名.進路決定届」(相談して決定したもの。ファイル名に学籍番号と氏名を付けてください)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	富山の子ども育成

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>< 幼保分野 > (科目担当教員：幼稚園教諭・特別支援学校教諭経験あり)</p> <p>就職活動ミニ講座「仕事と人生設計」 保育士就職模擬試験申込書記入</p>	
	<p>【予習】 < 幼保分野 > 就職先候補をいくつか決めて参加する。保育士就職模擬試験を受験するかどうか決めてくる。毎回キャリアガイドブックを持参すること。</p>	90分
	<p>【復習】 < 幼保分野 > 就職活動の流れを整理する。模擬試験に向けて勉強を進める。 求人票の見方「保育士転職びより」等参照</p>	90分
第2回	<p>< 幼保分野 > 「キャリアガイドブック」の説明 就職先を見据えた履歴書・短文論述の書き方練習（受験先の過去のテーマ） 就職活動状況報告</p>	
	<p>【予習】 < 幼保分野 > 3年次のキャリアで指導を受けた資料を見返し、持参する。 受験先の過去出題されたテーマを調べておき、内容を考えてくること。</p>	90分
	<p>【復習】 < 幼保分野 > 練習用履歴書短文論述の内容を完成させる。模擬試験に向けて勉強を進める。</p>	90分
第3回	<p>< 幼保分野 > 【E-405】 模擬試験（1）教養試験 110分（受験しない学生は論作文を別教室で記入もしくは学習）</p>	
	<p>【予習】 < 幼保分野 > 模擬試験に向けて勉強を進める。 完成した練習用履歴書を提出できるよう準備しておく。提出した履歴書については、参事よりコメントを加えて返信する。</p>	90分
	<p>【復習】 < 幼保分野 > 模擬試験の内容を再確認する。</p>	90分
第4回	<p>< 幼・保分野 > 【E-405】 模擬試験（2）専門試験 60分（受験しない学生は全国保育士養成協議会の課題もしくは作文提出）、練習用履歴書提出 [参事]、就職活動状況報告</p>	
	<p>【予習】 < 幼保分野 > 模擬試験に向けて勉強を進める。</p>	90分
	<p>【復習】 < 幼保分野 > 模擬試験の内容を再確認する。</p>	90分
第5回	<p>< 幼保分野 > 【F-205】 保育者のためのメーキャップ講座：就活・社会人のための身だしなみ 外部講師：（株）シンシア コロナ禍のため、ポイントメイクの化粧品やブラシを持参する（貸し出しはできません）。 模試を受けた人は代金1,700円と解答用紙を、5/17（月）の授業に持参する。</p>	
	<p>【予習】 < 幼保分野 > 筆記用具、実践したい学生はメーキャップ道具を準備しておく。</p>	90分
	<p>【復習】 < 幼保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容を面接シートに記入する。</p>	90分
第6回	<p>< 幼保分野 > 【E-608 E-606】 個別指導（1）就職先に応じた学習・面接指導（公立・私立幼保こ、施設）、就職相談、就職活動状況報告</p>	
	<p>【予習】 < 幼・保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容が記載した面接シートに目を通してくる。</p>	90分
	<p>【復習】 < 幼保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容を面接シートに記入する。</p>	90分

第7回	< 幼保分野 > 【E-608 E-606】 個別指導（2） 就職先に応じた学習・面接指導（公立・私立幼保こ、施設）、就職相談、就職活動状況報告	
	【予習】 < 幼・保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容が記載した面接シートに目を通してくる。	90分
	【復習】 < 幼保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容を面接シートに記入する。	90分
第8回	< 幼保分野 > 【E-608 E-606】 個別指導（3） 就職先に応じた学習・面接指導（公立・私立幼保こ、施設）、就職相談、就職活動状況報告	
	【予習】 < 幼・保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容が記載した面接シートに目を通してくる。	90分
	【復習】 < 幼保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容を面接シートに記入する。	90分
第9回	< 幼保分野 > 【E-608 E-605 E-606】 個人面接指導（1）【面接官2名：幼保分野教員】 すでに内定をもらった学生は別教室で自主学習	
	【予習】 < 幼・保分野 > （練習用）履歴書に記入したことを話せるようにしておく。面接後に教員よりコメントがある。	90分
	【復習】 < 幼保分野 > 面接指導での指導内容を振り返り、面接シートに記入する。	90分
第10回	< 幼保分野 > 【E-608 E-605 E-606】 個人面接指導（2）【面接官2名：幼保分野教員】 すでに内定をもらった学生は別教室で自主学習	
	【予習】 < 幼・保分野 > （練習用）履歴書に記入したことを話せるようにしておく。面接後に居委運よりコメントがある。	90分
	【復習】 < 幼保分野 > 面接指導での指導内容を振り返り、面接シートに記入する。	90分
第11回	< 幼保分野 > 【E-608 E-606】 個別指導（4） 就職先に応じた学習・面接指導（公立・私立幼保こ、施設）、就職相談、就職活動状況報告	
	【予習】 < 幼・保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容が記載した面接シートに目を通してくる。	90分
	【復習】 < 幼保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容を面接シートに記入する。	90分
第12回	< 幼保分野 > < 幼保分野 > 集団討論指導（グループ別）	
	【予習】 < 幼保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容が記載した面接シートに目を通してくる。	90分
	【復習】 < 幼保分野 > 就職先に応じた学習、面接指導での指導内容を面接シートに記入する。	90分
第13回	【予習】 過去出題されたテーマについて調べ、討論できるよう備えておく。練習後に教員から助言がある。	
	【復習】 助言を受けた内容を復習し、自主的に集団討論を行うこと。	90分
第14回	< 幼保分野 > 就職に向けての心構え、受験状況の報告（受験報告書の記入）、就職相談、就職活動状況報告 すでに内定をもらった学生は進路決定届の記入	
	【予習】 就職活動の進行状況に合わせた準備をしておくこと。	90分
	【復習】 提出必要な書類がある場合は締め切りを確認しておくこと。	90分

第15回	<幼保分野> 「先輩に聞く」(2・3・4年生合同) 前半:就活体験 後半:懇談会	
	【予習】 後輩に伝えたいことをまとめておく。	90分
	【復習】 <幼保分野>第15回(1月)の「先輩に聞く」で就職活動体験発表を依頼された学生は、6分程度で、進路決定までの経緯、勉強方法・教材(持参)、2,3年生へのアドバイスを話せるよう、まとめておいてください。	90分
第16回	【予習】	
	【復習】	
第17回	【予習】	
	【復習】	
第18回	【予習】	
	【復習】	
第19回	【予習】	
	【復習】	
第20回	【予習】	
	【復習】	
第21回	【予習】	
	【復習】	
第22回	【予習】	
	【復習】	
第23回	【予習】	
	【復習】	

第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ~ について、受講態度（80%）と、提出物（20%）を総合的に判断して評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：30%、社会性40%、専門性30%）		
使用資料 <テキスト>	<幼保分野>キャリアガイドブック	使用資料 <参考図書>	随時紹介または配布する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・マイ就活ノート（仮題）を作成し、就活の日記や面接対策メモ等に活用すること。 ・子ども育成の専門職になるために、常日頃より情報収集を行い、自主研修やインターンシップに積極的に取り組む。 <p>進捗状況に応じて、受験報告書・進路決定届・内定後の提出書類のコピーを2階キャリア支援センターに提出する。 ・それぞれの</p>		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室に訪問するか、メール（ishikura@tuins.ac.jp）で質問をする。		
オフィス・アワー	前期：水曜日5限（E-403石倉研究室）		

授業科目名	キャリア支援講座 (A)	科目コード	K0704F04
英文名	Career Planning and Support III		

科目区分	キャリア系科目
------	---------

職名	教授	担当教員名	松山 友之
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日 木曜日	時限	5限目 5限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	「キャリア支援講座」をふまえて、小学校教諭を本格的に目指し、実技指導や模擬試験、模擬面接、グループ討論等の受験対策を中心に行う。			
-------	--	--	--	--

キーワード	なりたい自分	就職活動	採用試験対策	事前研修
-------	--------	------	--------	------

到達目標	受験対策を中心とした個別的・実践的な指導により、「なりたい自分」になるための就職や採用試験合格を目指し、主体的に行動することができるようになる。(100%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)		地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養		富山の子ども育成	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<小学校分野> オリエンテーション 教員採用試験に向けての心構え 教職教養の出題傾向	
	【予習】教職教養について内容を確認する。	60分
	【復習】過去の問題等で内容の理解を確かめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第2回	<小学校分野> 教員採用模擬試験 1 一般教養、教職教養	
	【予習】一般教養、教職教養について内容を確認する。	60分
	【復習】過去の問題等で内容の理解を確かめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第3回	<小学校分野> 教員採用模擬試験 2 小学校全科	
	【予習】小学校全科について内容を確認する。	120分
	【復習】過去の問題等で内容の理解を確かめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第4回	<小学校分野> 富山県教員採用試験説明会 富山県教員採用について	
	【予習】富山県教育大綱、富山県教員採用試験の要項で内容を確認する。	30分
	【復習】富山県の教員に求められる資質、能力について考えをまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第5回	<小学校分野> 願書の書き方 志望の動機、自己アピール	
	【予習】キャリア支援 で作成した、願書の志望動機や、自己アピールを確認する。	60分
	【復習】実際に願書を記入し、正しく記入されているか確かめるとともに、教員を目指す動機を再確認する。	120分
第6回	<小学校分野> 集団面接演習 1 グループ討論	
	【予習】教育に関する話題や時事問題などについて新聞やニュースを見て、話し合う内容をまとめる。	60分
	【復習】集団討論の討論の内容を振り返り、話題や論点を整理し、自分の考えを深める。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第7回	<小学校分野> 集団面接演習 2 グループ討論	
	【予習】教育に関する話題や時事問題などについて新聞やニュースを見て、話し合う内容をまとめる。	60分
	【復習】集団討論の討論の内容を振り返り、話題や論点を整理し、自分の考えを深める。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分

第8回	<小学校分野> 集団面接演習 3 グループ討論	
	【予習】教育に関する話題や時事問題などについて新聞やニュースを見て、話し合う内容をまとめる。	60分
	【復習】集団討論の討論の内容を振り返り、話題や論点を整理し、自分の考えを深める。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第9回	<小学校分野> 集団面接演習 4 グループ討論	
	【予習】教育に関する話題や時事問題などについて新聞やニュースを見て、話し合う内容をまとめる。	60分
	【復習】集団討論の討論の内容を振り返り、話題や論点を整理し、自分の考えを深める。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第10回	<小学校分野> 集団面接演習 5 グループ討論	
	【予習】教育に関する話題や時事問題などについて新聞やニュースを見て、話し合う内容をまとめる。	60分
	【復習】集団討論の討論の内容を振り返り、話題や論点を整理し、自分の考えを深める。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第11回	<小学校分野> 集団面接演習 6 グループ討論 富山県教員採用試験打合せ	
	【予習】教育に関する話題や時事問題などについて新聞やニュースを見て、話し合う内容をまとめる。	60分
	【復習】集団討論の討論の内容を振り返り、話題や論点を整理し、自分の考えを深める。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第12回	<小学校分野> 前期のまとめと今後の対策 1次試験のまとめ 小論文、模擬授業演習 理科のデジタル教科書 活用してください！ 3年デジタル教科書（教師用） 4年デジタル教科書（教師用） 5年デジタル教科書（教師用） 6年デジタル教科書（教師用） 小学校理科 観察実験の手引き	
	【予習】前期の活動をまとめ、1次試験等の取り組みを振り返る。	60分
	【復習】小論文、模擬授業について自分のプランを立て、実際に取り組む。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第13回	<小学校分野> 第2次試験対策 小論文演習	
	【予習】学級の問題の事例について、学級担任としての自分の考えを小論文にまとめる。	60分
	【復習】いくつかの事例について、学級担任としてどのように対応するか考えを小論文にまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分

第14回	<小学校分野> 第2次試験対策 模擬授業演習	
	【予習】模擬授業について、自分のプランをまとめ実際に模擬授業を行う。	60分
	【復習】模擬授業について振り返り、改善点や工夫点をまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第15回	<小学校分野> 第2次試験対策 個人面接演習	
	【予習】検察室の出入りや動き、願書を見直し、自己アピールなどを確認する。 教育に関する話題や時事問題などについて新聞やニュースを見て、教育について話す内容をまとめる。	60分
	【復習】個人面接について注意点を洗い出し、自分の思いや願いをどのように伝えるか検討する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第16回	<小学校分野> 第2次試験対策 模擬授業演習 実技演習（オルガン、体育）	
	【予習】模擬授業や自分が選んだ実技について練習する。	120分
	【復習】担当教員からのアドバイスをもとに実際の場面を想定し、模擬授業や実技演習を行う。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第17回	<小学校分野> 第2次試験対策 模擬授業・個人面接演習	
	【予習】検察室の出入りや動き、願書を見直し、自己アピールなどを確認する。 模擬授業や教育に関する話題や時事問題などについて新聞やニュースを見て、教育について話す内容をまとめる。	120分
	【復習】模擬授業や個人面接について注意点を洗い出し、自分の思いや願いをどのように伝えるか検討する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第18回	<小学校分野> 面接練習 講師登録に向けて 臨時教員希望者	
	【予習】自分の志望動機や教師として大切にしたいことを確認する。	60分
	【復習】検察室の出入りや動きを確認する。また、志望動機を見直し自分の考え教員への思いをまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第19回	<小学校分野> 面接練習 講師登録に向けて 臨時教員希望者	
	【予習】自分の志望動機や教師として大切にしたいことを確認する。	60分
	【復習】検察室の出入りや動きを確認する。また、志望動機を見直し自分の考え教員への思いをまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第20回	<小学校分野> 救命講習会 子どもの命を守るために	
	【予習】救命救急について、今まで習ったことを確認する。	30分
	【復習】実際に救命救急について学んだことを確認し、現場で起こる事故や災害に教員としてどのように対応すべきかについて考えを小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分

第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	

第30回	【予習】	
	【復習】	
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	各回のレポートまたは試験、面接、模擬授業等（80％）と、出席・態度・意欲（20％）を総合的に判断して評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	小学校分野：文部科学省 平成29年告示『小学校学習指導要領』	使用資料 <参考図書>	随時紹介する。
授業外学修等	子ども育成の専門職になるために、常日頃より情報収集を行い、各種試験に備える。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室に訪問するか、メールで質問をする。		
オフィス・アワー	金曜 1 限		

授業科目名	キャリア支援講座 (C)	科目コード	K0704F04
英文名	Career Planning and Support III		

科目区分	キャリア系科目
------	---------

職名	教授	担当教員名	相山 馨
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	5限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	「キャリア支援講座」をふまえて、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、社会福祉士の専門職を本格的に目指し、実技指導や模擬試験、模擬面接、グループ討論等の受験対策を中心に行う。(講師はソーシャルワーク実践の経験あり)			
-------	--	--	--	--

キーワード	なりたい自分	就職活動	採用試験対策	事前研修
-------	--------	------	--------	------

到達目標	受験対策を中心とした個別的・実践的な指導により、「なりたい自分」になるための就職や採用試験合格を目指すことができる。(100%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養	富山の子ども育成

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問トレーニング(1) 【様式】「就職活動届」	
	【予習】2019年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第2回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践カトレーニング(1)	
	【予習】2019年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第3回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践カトレーニング(2)	
	【予習】2019年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第4回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践カトレーニング(3)	
	【予習】2018年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第5回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践カトレーニング(4)	
	【予習】2018年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第6回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践カトレーニング(5)	
	【予習】2018年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第7回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践カトレーニング(6)	
	【予習】2017年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第8回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践カトレーニング(7)	
	【予習】2017年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分

第9回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践力トレーニング(8)	
	【予習】2017年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第10回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践力トレーニング(9)	
	【予習】2016年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第11回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践力トレーニング(10)	
	【予習】2016年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第12回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践力トレーニング(11)	
	【予習】2016年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第13回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問確認テスト・実践力トレーニング(12)	
	【予習】2015年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第14回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験直前模試	
	【予習】2015年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第15回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問トレーニング(2)	
	【予習】2015年度過去問を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分
第16回	<社会福祉分野> 社会福祉士国家試験過去問トレーニング(3)	
	【予習】2019年度統一模試の問題を解く	180分
	【復習】解説の内容をすべて理解し、わからないキーワードは調べて覚える	180分

第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	
第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	

第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	各回の試験、模擬試験（80％）と、態度・意欲（20％）を総合的に判断して評価する。 全出席を原則とする。		
使用資料 <テキスト>	社会福祉分野：社会福祉士国家試験過去問 解説集2019・2016（中央法規）、社会福祉	使用資料 <参考図書>	随時紹介する。
授業外学修等	子ども育成の専門職になるために、常日頃より情報収集を行い、各種試験に備える。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室に訪問するか、メールで質問をする。		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	相談援助の基盤と専門職	科目コード	K1104F12
英文名	Professional Basis of Social Work Practice		

科目区分	子ども育成の理論
------	----------

職名	教授	担当教員名	室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日 水曜日	時限	3限目 2限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	4単位

授業の概要	<p>「総合的かつ包括的な相談援助」の理論と実際を体系的に学ぶ。社会福祉士の位置づけとソーシャルワークの基本概念及び形成過程、ソーシャルワーク実践の理念及び実践の基盤となる価値・権利擁護・自己決定・ノーマライゼーション等、ソーシャルワークの具体的な展開として「総合的かつ包括的な相談援助」の全体像とそれを支えるジェネラリスト・ソーシャルワークの特質、専門職の概念と範囲、「総合的かつ包括的な相談援助」における専門的機能を学ぶ。ソーシャルワークの実務経験あり。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	総合的かつ包括的な			
-------	-----------	--	--	--

到達目標	ソーシャルワークの理念を理解し、その歴史を振り返ることでソーシャルワークの全容を概観することができる。(40%)
	ソーシャルワークにかかわる専門職の制度化に至る過程を把握し、その役割と意義を理解することができる。(30%)
	ソーシャルワークの概念と範囲について理解することができる。(30%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力(人間性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会福祉士の役割と意義	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第2回	現代社会と地域生活	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第3回	ソーシャルワークの概念	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第4回	ソーシャルワークの構成要素	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第5回	ソーシャルワークの源流	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第6回	ソーシャルワークの基礎確立期（～1930年代） 【資料】「第6回PPT資料」	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第7回	ソーシャルワークの発展期（1940代～50年代半ば） 【資料】「第7回PPT資料」	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第8回	ソーシャルワークの展開期（1950年代半ば～1960年代以降）	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分

第9回	ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク 【資料】	
	【予習】該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第10回	ソーシャルワーカー実践と価値	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第11回	ソーシャルワーク実践と権利擁護	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第12回	クライアントの尊厳と自己決定	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第13回	ノーマライゼーションと社会的包摂	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第14回	専門職倫理の概念	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第15回	倫理的ジレンマ	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書並びにパワーポイントを中心に振り返る。	30分
第16回	「総合的かつ包括的な相談援助」の動向とその背景 【資料】「第16回PPT資料」	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分

第17回	地域を基盤としたソーシャルワークの八つの機能	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第18回	「総合的かつ包括的な相談援助」の動向とその背景	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第19回	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と基本的視点	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第20回	ジェネラリスト・ソーシャルワークの特質 「総合的かつ包括的な相談援助」の基礎理論	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】パワーポイント資料を読み返す。	30分
第21回	相談援助専門職の概念	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第22回	相談援助専門職の範囲	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第23回	諸外国の動向（1）	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第24回	諸外国の動向（2）	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第25回	予防機能	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分

第26回	権利擁護機能(1)	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第27回	権利擁護機能(2)	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第28回	新しいニーズへの対応機能	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第29回	総合的支援機能	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第30回	まとめ	
	【予習】教科書の該当箇所を事前に読む。	30分
	【復習】教科書とパワーポイント資料を読み返す。	30分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 から について、取り組む姿勢・授業態度（20%）、試験（80%）で、総合的に評価する。なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	新・社会福祉士養成講座6『相談援助の基盤と専門職(第3版)』（中央法規） 社会福祉	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	日頃より関連のある文献をよく読んでおくこと。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。室林（muro@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	月曜1限 室林研究室		

授業科目名	保育所実習指導	科目コード	K1304F02
英文名	Guidance on Day Nursery Practical Training II		

科目区分	子ども育成の実習
------	----------

職名	准教授 講師	担当教員名	本江 理子 竹田 好美
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	1単位

授業の概要	<p>保育所実習 の事前事後指導として行う。保育所における実習の意義や目標について理解し、保育の観察・記録・自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題・認識を明確化する。(担当教員：保育所や幼稚園での実務経験あり)</p>				
-------	--	--	--	--	--

キーワード	3歳以上児の生活と	専門性と職業倫理	教材研究・指導案	自己課題の明確化	総合的な学び
-------	-----------	----------	----------	----------	--------

到達目標	保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。(40%)				
	保育士の専門性と職業倫理について理解することができる。(20%)				
	実習や既習教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を高めることができる。(20%)				
	実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。(20%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	/		/	/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育所実習 の概要 保育所実習 及びその事前事後学習の流れ 保育所実習 の目的と心構え	
	【予習】体調を整える(自分なりの体力づくりを考え、実施) 実習が始まるまで、毎日行う	90分
	【復習】『実習の手引き』を熟読する	90分
第2回	実習日誌の書き方 (3歳以上児に関する事項の説明)	
	【予習】テキスト『実習日誌の書き方-幼稚園・保育所・施設実習完全対応-』を計画的に読み進める	90分
	【復習】テキスト『実習日誌の書き方-幼稚園・保育所・施設実習完全対応-』を計画的に読み進める	180分
第3回	実習日誌の書き方 (実際の例から学ぶ)	
	【予習】テキスト『実習日誌の書き方-幼稚園・保育所・施設実習完全対応-』を計画的に読み進める	90分
	【復習】テキスト『実習日誌の書き方-幼稚園・保育所・施設実習完全対応-』を計画的に読み進める	180分
第4回	指導案の書き方	
	【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める	90分
	【復習】テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める 教材研究の材料・資料を準備する	180分
第5回	教材研究	
	【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める 教材研究の材料・資料を準備する	180分
	【復習】テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める 教材研究の材料・資料を準備する	90分
第6回	実習配属先の概要	
	【予習】実習日誌の書き方、指導案の書き方を復習しておく 通える範囲内に、どのような保育施設があるか調べておく	90分
	【復習】配属された実習先について調べる 実習日誌の書き方、指導案の書き方をさらに復習しておく	90分
第7回	指導案の作成 (グループ内での検討) 金曜日です 教室は、E406	
	【予習】指導案を少なくとも5例仕上げてくる	180分
	【復習】次回の発表に向けて、指導案を再検討する	90分

第8回	指導案の作成 (発表) 実習前、ラストの授業	
	【予習】次回の発表に向けて、指導案を再検討する	90分
	【復習】実習全般に関しての準備を進める ・準備物のチェック ・身だしなみ(特に、ピアス 爪 注意) ・体調を整える(うがい 手洗い) コロナ禍のため、大学に来ることは禁止します。メール等でご連絡ください。	180分
第9回	実習課題の明確化	
	【予習】実習の課題について考えておく	90分
	【復習】実習の課題についての準備を進める 実習先へ事前訪問を行い、実習の内容についてまとめておく 実習施設概要レポートを作成する	180分
第10回	実習のまとめを作成 (構成を考える)	
	【予習】実習日誌を振り返り、実習のまとめの構成を考えておく	90分
	【復習】考えた構成に従って、内容を考える	90分
第11回	実習のまとめを作成 (作成・提出)	
	【予習】第10回の授業で考えた構成にしたがって、内容を考える	90分
	【復習】実習のまとめから、発表内容を考える	90分
第12回	実習報告会の準備 実習生に対するアンケート調査 ご協力いただけると幸いです「課題1」に添付してください	
	【予習】実習のまとめから、発表内容を考える	90分
	【復習】実習報告会の準備を進める	90分
第13回	実習の自己評価	
	【予習】実習の反省・自己評価に関して考えておく	90分
	【復習】反省・自己評価に関してまとめる	90分
第14回	今後の自己課題の明確化	
	【予習】今後の課題について考えておく	90分
	【復習】自己課題に関してまとめ、課題解決の計画を実行する	90分
第15回	総括	
	【予習】実習で学んだことと今後の課題を発表できるようにしておく	90分
	【復習】実習全体を通しての今後の課題をまとめる	90分

	実習報告会 実施要項:2021年度保育所実習 実習報告会について 実施要項:2021年度保育所実習 実習報告会について グループ分け：2021年度保育所実習 実習報告会	
第16回	【予習】 5-30 実習のまとめ 32-54 実習のまとめ 55-89 実習のまとめ	
	【復習】	
第17回	【予習】	
	【復習】	
第18回	【予習】	
	【復習】	
第19回	【予習】	
	【復習】	
第20回	【予習】	
	【復習】	
第21回	【予習】	
	【復習】	
第22回	【予習】	
	【復習】	
第23回	【予習】	
	【復習】	
第24回	【予習】	
	【復習】	

第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度等）(50%)、レポート（実習事後レポート）(50%)で総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	開仁志編著『実習日誌の書き方～幼稚園・保育所・施設実習完全対応～』（一藝社	使用資料 <参考図書>	厚生労働省『保育所保育指針解説』（フ レーベル館）
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 ・子ども育成学部履修規程にある保育士養成課程の項をよく読んでおくこと。 		
授業外質問方法	授業の前後、オフィスアワーを中心に随時受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。		
オフィス・アワー	前期 ... 木曜日 2 限（本江） ・ 月曜日 4 限（竹田） 後期 ... 水曜日 2 限（本江） ・ 水曜日 2 限（竹田） 本江研究室... E 4 0 2 ・ 竹田研究室... E 3 0 1		

授業科目名	施設実習指導			科目コード	K1304F06
英文名	Guidance on Practical Training in Residential Care II				
科目区分	子ども育成の実習				
職名	教授 教授	担当教員名	相山 馨 室林 孝嗣		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日 月曜日	時限	2限目 4限目		
開講時期	4年通年	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	施設実習 の事前事後指導として行う。児童福祉施設等における実習の意義や目標について理解し、保育の観察・記録・自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題・認識を明確化する。（担当教員：福祉分野での実務経験あり）				
キーワード	保育実践力	保育士の専門性			
到達目標	実習や既習教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。(50%)				
	保育士の専門性と職業倫理について理解する。(50%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	施設実習 の概要	
	【予習】施設実習 の振り返り	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第2回	施設実習 及びその事前事後学習の流れ	
	【予習】施設実習 手引きの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第3回	施設実習 の目的と心構え	
	【予習】施設実習 手引きの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第4回	施設の一般的理解	
	【予習】施設実習 手引きの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第5回	実習配属優先の概要	
	【予習】施設実習 手引きの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第6回	施設実習 の実際	
	【予習】施設実習 手引きの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第7回	実習日誌の書き方	
	【予習】施設実習 手引きの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第8回	指導案の書き方	
	【予習】施設実習 手引きの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第9回	実習開始に向けて	
	【予習】施設実習 手引きの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分

第10回	実習の振り返り	
	【予習】実習を振り返ってまとめる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第11回	実習の自己評価	
	【予習】実習の自己評価を振り返ってまとめる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第12回	自己課題の明確化	
	【予習】実習を振り返り、自己課題をまとめる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第13回	事例検討	
	【予習】実習を振り返って事例をまとめる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第14回	児童福祉施設等における保育方法	
	【予習】実習を振り返って保育方法についてまとめる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、次回の授業に向けての課題を整理する	30分
第15回	総括	
	【予習】実習全体を振り返って獲得したことをまとめる	30分
	【復習】全体の授業内容を振り返り、自身の学びを整理する	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	

第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回	【予習】	
	【復習】	
第29回	【予習】	
	【復習】	
第30回	【予習】	
	【復習】	
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講状況等）40%、レポート60%で総合的に評価する。 全出席を原則とする。		
使用資料 <テキスト>	必要に応じてプリント、資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	開仁志編著『保育指導案大百科事典』（一藝社）
授業外学修等	上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 子ども育成学部履修規程にある保育士養成課程の項をよく読んでおくこと。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。相山（aiyama@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	保育所実習	科目コード	K1304P04
英文名	Day Nursery Practical Training		

科目区分	子ども育成の実習
------	----------

職名	准教授 講師	担当教員名	本江 理子 竹田 好美
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	4年前期	授業の方法	実習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>大学で学んだ理論や知識を生かすとともに、実際の保育現場にふれながら、保育の実践的な知識、技能等の基礎を修得する。</p> <p>保育所の生活の流れや展開を観察に基づいて把握し、保育士等の援助や関わりを学ぶ。</p> <p>また、保育士の業務と職業倫理、保育所の役割や機能の具体的展開等を理解したうえで、子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携について等も説明を受けて理解する。</p> <p>全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程を理解し、実際に作成した指導計画に基づく保育の実践と評価を行い、自己の課題の明確化していく。（担当教員：保育所・幼稚園での実務経験あり）</p>
-------	---

キーワード	3歳以上児の生活と	専門性と職業倫理	教材研究・指導案	自己課題の明確化	総合的な学び
-------	-----------	----------	----------	----------	--------

到達目標	保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解することができる。（30%）
	子どもの観察や関わりの視点を明確にすることで、保育の理解を深めることができる。（20%）
	既習の教科目や保育所実習の経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解することができる。（10%）
	保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深めることができる。（20%）
	保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて考えたうえで、実習における自己の課題を明確化することができる。（20%）

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		/	/		/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(授業計画は、10日間の実習プログラムの計画案であり、それぞれの内容は実習施設により適宜変更される) 参加実習	
	【予習】オリエンテーションとしての見学・観察等は、事前打ち合わせの際に行う。	
	【復習】	
第2回	参加実習 (場合により簡単な部分的な指導実習含む)	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	参加実習 (場合により簡単な部分的な指導実習含む)	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	参加実習 (場合により簡単な部分的な指導実習含む)	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	参加実習 (場合により簡単な部分的な指導実習含む)	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	参加実習 (場合により簡単な部分的な指導実習含む)	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	参加実習 (場合により簡単な部分的な指導実習含む)	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	部分実習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	部分実習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	全日(半日)実習 反省会	
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>実習評価表（100％）に基づき総合的に評価する。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：30％ 社会性：30％ 専門性：40％</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>関仁志編著『実習日誌の書き方～幼稚園・保育所・施設実習完全対応～』（一藝社</p>	使用資料 <参考図書>	<p>厚生労働省『保育所保育指針解説』（フレーベル館）</p>
授業外学修等	<p>「保育所実習指導」の授業内容（事前指導）を1つ1つ確認しましょう。（実習前だけではなく、実習中も、実習後も。） 実習が始まる前までに準備できることは、全て準備してから、実習に臨みましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>実習期間中は、メールや電話での質問を受け付けます。（担当教員の携帯電話番号は、授業内で知らせた通り。）</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日2限（本江） ・ 月曜日4限（竹田）</p>		

授業科目名	施設実習	科目コード	K1304P08
英文名	Practical Training in Residential Care II		

科目区分	子ども育成の実習
------	----------

職名	教授	担当教員名	相山 馨 室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	4年前期	授業の方法	実習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>施設の社会的役割等について、実地の経験を通して深く理解する。 児童(利用者)の発達の特徴や援助の方法などについて、実践的に理解する。 職員(保育士・指導員等)の職務内容や役割、他の職員とのチームワークなどについて実践的に理解する。(担当教員：福祉分野での実務経験あり)</p>				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	養護技術	活動計画の立案と実	チームワークの実践	利用者の最善の利益	地域社会との連携
-------	------	-----------	-----------	-----------	----------

到達目標	施設の養護活動に参加することで、保育士の職務や役割、援助技術について理解することができる				
	児童(利用者)に共感し受容する態度を身につけ、個人差や発達の違いに応じた養護の方法を理解することができる				
	保育士の援助の方法や対応から児童(利用者)に対する養護の姿勢や権利擁護の実際について理解することができる				
	活動計画を立案し、実践することができる				
	日常の保護者との対応を通して、よりよいコミュニケーションの方法を理解することができる				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
------	-------	-----	-------	-------	-------------------

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)		地域に生きる専門職としての資質・能力(専門性の向上)		
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
------------	-----	-------	-------	-------

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
-------	-------	----------	--------	-------------	--------------

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○「障がいとは何か」について考察する ・「障がい」についてのディスカッション	
	【予習】「障がい」について調べる（事前レポート）	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第2回	○障がい者福祉の歴史的展開を理解する ・「この子らを世の光に」から学ぶ 【資料】「この子らを世の光に（講演）」	
	【予習】障がい者福祉の歴史を調べる（事前レポート）	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第3回	○障がい者の心身の状況と疾病について理解する ・障がい特性についてディスカッション 【資料】「メモ（この子らを世の光に）」	
	【予習】障がい者の心身の機能・疾病を調べる（事前レポート）	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第4回	○障がい者の環境構成について理解を深める ・「安心・安全な環境とは」についてディスカッション	
	【予習】障がい者の環境について調べる（事前レポート）	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第5回	○保護者との関わりを理解する ・保護者へのインタビュー	
	【予習】保護者との関わりに必要な要素について考える	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第6回	○障がい児の施設の現状を理解する ・つくし学園柿本園長 講義・インタビュー	
	【予習】県内の障がい児施設について調べる	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第7回	○障がい者の施設の現状を理解する ・施設長へのインタビュー	
	【予習】県内の障がい者施設について調べる	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第8回	○立案した活動計画の発表と活動の実践1 ・活動計画と実践を2つ実施（重度・軽度）	
	【予習】活動計画の立案1	120分
	【復習】振り返りレポート	180分

第9回	○立案した活動計画の発表と活動の実践2 ・活動計画と実践を2つ実施（重度・軽度）	
	【予習】活動計画の立案2	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第10回	○立案した活動計画の発表と活動の実践3 ・活動計画と実践を2つ実施（重度・軽度）	
	【予習】活動計画の立案3	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第11回	○立案した活動計画の発表と活動の実践4 ・活動計画と実践を2つ実施（重度・軽度）	
	【予習】活動計画の立案4	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第12回	○立案した活動計画の発表と活動の実践5 ・活動計画と実践を2つ実施（重度・軽度）	
	【予習】活動計画の立案5	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第13回	○立案した活動計画の発表と活動の実践6 ・活動計画と実践を2つ実施（重度・軽度）	
	【予習】活動計画の立案6	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第14回	○立案した活動計画の発表と活動の実践7 ・活動計画と実践を2つ実施	
	【予習】活動計画の立案7	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第15回	実習全体の振り返り ・グループディスカッション	
	【予習】まとめ（事前レポート）	120分
	【復習】振り返りレポート	180分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	施設実習 評価表に基づき評価		
使用資料 <テキスト>	2020年度施設実習の手引き（施設実習）	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー	月曜1限		

授業科目名	特別支援教育論	科目コード	K1404P07
英文名	Theory of Special Support Education		

科目区分	子どもの発達と環境
------	-----------

職名	准教授	担当教員名	河崎 美香
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>文部科学省は、平成14年の調査に続いて10年後の平成24年に、通常の学級に在籍する特別な支援が必要と思われる児童生徒の調査を実施した。これにより、通常の学級に特別な支援が必要と思われる児童生徒が6.5%いることが明らかとなった。本講義は、小学校教員を目指す学生が、特別支援教育の目的、法制度や体制、小学校における現状と取り組み等を広く学び、特別支援教育及び障害のある子どもの理解を図るものである。(担当教員：幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、特別支援教育コーディネーターとして幼保小中学校への巡回相談の実務経験あり)</p>
-------	---

キーワード	インクルーシブ教育	合理的配慮			
-------	-----------	-------	--	--	--

到達目標	特別支援教育に至る背景や関係法などの、基本的事項を理解することができる。(30%)
	特別支援教育の概要とその意義を理解することができる。(30%)
	小学校における現状と取り組み状況等について、実践(事例)的に学び、理解することができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・講義の意図と講義計画 特別支援教育の理念と基本的な考え方、これまでの特殊教育との違い等	
	【予習】テキスト P2～P3 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第2回	特別支援教育の登場 ノーマライゼーション、インクルージョン、海外の特別支援教育の現状、教育改革と特別支援教育	
	【予習】テキスト P4～P10 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第3回	特別支援教育の制度と構造 学校教育法の中の特別支援教育、校内体制づくり等	
	【予習】テキスト P12～P23 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第4回	知的障害の理解と指導・支援 障害の定義、幼児・児童の特性、学習・生活上の困難と教師に求められる視点、学習指導要領と教育課程、領域・教科を合わせた指導 配布資料 講義日程表（補講日含む）	
	【予習】テキストP26-27,32-33,36-37（～P43）を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する 提出課題 へ格納（本日21時締切）	90分
第5回	講義内容を入れ替え、この回で自閉スペクトラム症について学びます。 自閉スペクトラム症の理解と指導・支援 障害の定義、幼児・児童の特性、学習・生活上の困難と教師に求められる視点等 配布資料	
	【予習】テキスト P56～P57 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する 提出課題 へ格納	90分
第6回	講義内容を入れ替え、この回で、知的障害（パート2）として、教科学習について学びます。 知的障害の理解と指導・支援 教科学習の指導(知的障害)、教材の実際、学習上の困難と教師に求められる視点	
	【予習】テキスト P28～P39 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第7回	特別支援学級における指導・支援(自閉症、情緒障害) 特別支援学級の児童の実態と障害の特性、指導の実際	
	【予習】自閉症・情緒障害特別支援学級について調べる	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分

第8回	特別支援学級における指導・支援(視覚障害、聴覚障害) 児童の実態と障害の特性、学習・生活上の困難と教師に求められる視点、指導の実際	
	【予習】障害のある児童の特性とニーズについて調べる	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第9回	特別支援学級における指導・支援(肢体不自由、病弱等)	
	【予習】障害のある児童の特性とニーズについて調べる	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第10回	LD、ADHDの理解と指導・支援 障害の定義、幼児・児童の特性、学習・生活上の困難とその配慮点、指導・支援の実際	
	【予習】テキスト P52～P55 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第11回	通常学級の特別支援教育 通常学級における特別支援教育の視点を取り入れた学級運営、指導の実際	
	【予習】テキスト P48～P49、P92～P109 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第12回	通常学級における授業づくり 通常学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業、教材等	
	【予習】テキスト P48～P49、P92～P109 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第13回	通常の学級における特別な教育的支援や配慮を必要とする児童の指導・支援 母国語や貧困の問題等の特別な教育的支援や配慮を必要とする児童の指導・支援	
	【予習】テキスト P62～P63 を読む 外国籍の児童が抱える問題について調べる	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第14回	小学校における通級による指導・支援 通級指導の形態、通級による指導の内容、課題等	
	【予習】テキスト P44～P47、P182～P183 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第15回	家庭支援と相談体制 相談を受けられる機関、就学相談、放課後における障害児支援等 授業のまとめ	
	【予習】テキスト P184～P189 を読む	90分
	【復習】授業内容全体を振り返り、整理する	90分

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>1. 全15回の取組み状況・授業内コメントシート(70%程度)、レポート(30%程度)とし、総合的に評価する。</p> <p>2. 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p> <p>人間性：15 % 社会性：15 % 専門性：70 %</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	湯浅恭正編 「よくわかる特別支援教育 第2版」 ミネルヴァ書房	使用資料 <参考図書>	講義の中で、適宜紹介する。
----------------	------------------------------------	----------------	---------------

授業外学修等	新聞・TV報道等、特別支援教育に関する情報に関心をもつ。
--------	------------------------------

授業外質問方法	授業の前後やオフィスアワーに随時受け付ける。
---------	------------------------

オフィス・アワー	水曜13:10～14:40 河崎研究室(E303)
----------	---------------------------

授業科目名	相談援助実習指導（3年）	科目コード	K1503F08
英文名	Guidance on Practical Training in Social Work		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	准教授 教授 教授	担当教員名	相山 馨 村上 満 室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日 火曜日	時限	5限目 3限目
開講時期	3年・4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	相談援助実習の意義について理解し、相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導をとおして、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を習得する。3年次の実習での学びを踏まえて、相談援助にかかわる知識と技術について事例検討をとおして具体的に学ぶ。(担当教員:ソーシャルワーク実践の実務経験あり)		
-------	---	--	--

キーワード	ソーシャルワークの	ソーシャルワークの		
-------	-----------	-----------	--	--

到達目標	相談援助実習をもとに自身の具体的な体験や援助活動を総括し、それらをソーシャルワークの価値・知識・技術へとフィードバックできる力を身につける。(50%)			
	ソーシャルワークの支援過程に沿いながら、自身の実習内容を理論化し体系立てる力を習得する。(50%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習の振り返り	
	【予習】実習内容をまとめる（職場実習）	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	実習の振り返り	
	【予習】実習内容をまとめる（職種実習）	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	実習の振り返り	
	【予習】実習内容をまとめる（ソーシャルワーク実習）	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	実習で学んだ知識、体験の分析	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	実習で学んだ技術、体験の分析	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	実習成果の振り返り	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	実習報告会	
	【予習】発表の準備をする	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	実習報告会の振り返り	
	【予習】実習報告会を振り返りまとめる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第9回	理論へのフィードバック 高齢者福祉	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第10回	理論へのフィードバック 障害者福祉-思想・歴史	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	理論へのフィードバック 障害者福祉-法律	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	理論へのフィードバック 障害者福祉-近年の動向	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第13回	理論へのフィードバック 社会保障	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第14回	理論へのフィードバック 就労支援	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第15回	理論へのフィードバック 今後のわが国の社会福祉	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】これまでの授業全体を振り返り、学んだ内容を整理する	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	

第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回	【予習】	
	【復習】	
第29回	【予習】	
	【復習】	
第30回	【予習】	
	【復習】	
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート等をもとに総合的に判断する。 全出席を原則とする。		
使用資料 <テキスト>	白澤政和・米本秀仁編	使用資料 <参考図書>	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』 ミネルヴァ書房
授業外学修等	上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 子ども育成学部履修規程にある社会福祉士養成課程の項をよく読んでおくこと。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。室林 (muro@tuins.ac.jp) 村上(murakami@tuins.ac.jp) 相山 (aiyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	相談援助実習指導（4年）	科目コード	K1504F08
英文名	Guidanceon Practical Trainingin Social Work		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授 教授 教授	担当教員名	相山 馨 村上 満 室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日 月曜日	時限	4限目 1限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	相談援助実習の意義について理解し、相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導をとおして、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を習得する。3年次の実習での学びを踏まえて、相談援助にかかわる知識と技術について事例検討をとおして具体的に学ぶ。(担当教員:ソーシャルワーク実践の実務経験あり)		
-------	---	--	--

キーワード	ソーシャルワークの	ソーシャルワークの		
-------	-----------	-----------	--	--

到達目標	相談援助実習をもとに自身の具体的な体験や援助活動を総括し、それらをソーシャルワークの価値・知識・技術へとフィードバックできる力を身につける。(50%)
	ソーシャルワークの支援過程に沿いながら、自身の実習内容を理論化し体系立てる力を習得する。(50%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習の振り返り	
	【予習】実習内容をまとめる（職場実習）	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	実習の振り返り	
	【予習】実習内容をまとめる（職種実習）	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	実習の振り返り	
	【予習】実習内容をまとめる（ソーシャルワーク実習）	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	実習で学んだ知識、体験の分析	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	実習で学んだ技術、体験の分析	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	実習成果の振り返り	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	実習報告会	
	【予習】発表の準備をする	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	実習報告会の振り返り	
	【予習】実習報告会を振り返りまとめる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第9回	理論へのフィードバック 高齢者福祉	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第10回	理論へのフィードバック 障害者福祉-思想・歴史	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	理論へのフィードバック 障害者福祉-法律	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	理論へのフィードバック 障害者福祉-近年の動向	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第13回	理論へのフィードバック 社会保障	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第14回	理論へのフィードバック 就労支援	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第15回	理論へのフィードバック 今後のわが国の社会福祉	
	【予習】テキストの該当部分を読む	30分
	【復習】これまでの授業全体を振り返り、学んだ内容を整理する	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	

第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回	【予習】	
	【復習】	
第29回	【予習】	
	【復習】	
第30回	【予習】	
	【復習】	
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート等をもとに総合的に判断する。 全出席を原則とする。		
使用資料 <テキスト>	白澤政和・米本秀仁編	使用資料 <参考図書>	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』 ミネルヴァ書房
授業外学修等	上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 子ども育成学部履修規程にある社会福祉士養成課程の項をよく読んでおくこと。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付けます。室林 (muro@tuins.ac.jp) 村上(murakami@tuins.ac.jp) 相山 (aiyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	月曜1限 相山研究室		

授業科目名	スクールソーシャルワーク実習	科目コード	K1504F14
英文名	Practical Training in School Social Work		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	4年通年	授業の方法	実習
必修・選択	自由	単位数	2単位

授業の概要	<p>スクールソーシャルワーク実習（富山市教育委員会派遣のスクールソーシャルワーカー配置小中学校および私立高校での現場実習、富山市生活保護受給世帯等への学習・生活支援実習、県内の社会資源見学実習：合計80時間）として、ソーシャルワークに係る知識と技術について学校教育現場において、スクールソーシャルワーカーの果たす役割や機能について、具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。</p>				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	富山市学習支援事業	アセスメント	校内相談体制	プロセス評価	アウトカム評価
-------	-----------	--------	--------	--------	---------

到達目標	学校教育現場で生活（学校・家庭）課題を抱えている対象者（児童・生徒、家族、地域等）を支援することを通じて、スクールソーシャルワークの必要性を理解することができる。（25％）
	富山市生活保護受給世帯の実態と学習・生活支援の実践について理解できる。（25％）
	チームとしての学校のスタッフの一人として、校内外でのスクールソーシャルワーカーの機能と動きについて説明できる。（25％）
	スクールソーシャルワーカーが活用する社会資源について説明できる。（25％）

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	富山市生活保護受給世帯等学習支援事業（週1回 2時間：合計50時間～60時間程度） *当該事業が地域社会の中で果たす役割の理解及び担当ケースへの働きかけ	
	【予習】 実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】 本日の実習内容について再確認する	60分
第2回	現任スクールソーシャルワーカーとの校内現場実習（週1回 4時間：合計20時間程度） *SSWが校外で果たす役割の理解及び担当ケースへの働きかけ（校内適応指導教室での働きかけ）	
	【予習】 実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】 本日の実習内容について再確認する	60分
第3回	県内外の社会資源見学実習（5カ所：合計10時間程度） *社会資源の役割の理解	
	【予習】 実習内容を振り返り、自身の課題を整理する	60分
	【復習】 本日の実習内容について再確認する	60分
第4回		
	【予習】	
	【復習】	
第5回		
	【予習】	
	【復習】	
第6回		
	【予習】	
	【復習】	
第7回		
	【予習】	
	【復習】	
第8回		
	【予習】	
	【復習】	
第9回		
	【予習】	
	【復習】	

第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	

第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回	【予習】	
	【復習】	
第29回	【予習】	
	【復習】	
第30回	【予習】	
	【復習】	
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1 ~ 3 は、本学の実習評価票（16項目）にもとづいて、実習指導者が評価する。(100%)</p> <p>評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>		
使用資料 <テキスト>	実習の手引き(本学作成)	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 日本学校ソーシャルワーク学会
授業外学修等	<p>上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。</p>		
授業外質問方法	メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。常に、報告、連絡、相談に心掛けること。		
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室		

授業科目名	保育相談支援	科目コード	K1504L02
英文名	Assistance and Support for Childcare		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	准教授	担当教員名	河崎 美香
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本授業では、将来保育者になる学生を対象に、子どもの健やかな育ちをめざした保護者支援の理論と技術を学ぶ。特に、保育所等の環境特性や保育の専門的技術を用いて行う保護者支援の内容について、理論、実践の両面から確認していく。具体的な保育相談事例を通して、相談支援の実践力を身に付けるとともに、必要な態度を育む。(担当教員：幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、特別支援教育コーディネーターとして幼保小中学校への巡回相談の実務経験あり)</p>		
-------	--	--	--

キーワード	地域子育て支援	保育者の専門性	相談援助技術		
-------	---------	---------	--------	--	--

到達目標	保育相談支援の意義と原則を学び、保護者支援の基本を理解することができる。(30%)				
	保育所や保育士の特性を生かした保育相談支援の具体的な内容とその効果について知り、具体的な実践方法の理解を深めることができる。(30%)				
	実際の相談事例を通して、相談支援の実践力を身に付けることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・講義の意図と講義計画 保育相談支援の意義、支援の対象、保育所の特性を生かした保育相談支援	
	【予習】テキスト P12～P14, P25～P30 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第2回	家庭の変容と保育相談支援 ひとり親家庭の増加、児童虐待の増加、共働き家庭の増加等	
	【予習】テキスト P14～P21 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第3回	保育相談支援の原則 子どもの最善の利益 保護者の主張と子どもの願いの狭間に立つ保育者等	
	【予習】テキスト P34～P36 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第4回	保育相談支援の原則 保護者の養育力の向上 守秘義務 保育相談支援のねらい、親育て、子育ての楽しさ、保育士の倫理綱領等 配布資料	
	【予習】テキスト P37～P44 を読む 講義計画表（補講日含む）	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する 提出課題 へ格納	90分
第5回	保育相談支援の原則 受容的なかわり 信頼関係の樹立、倫理観・価値観等について	
	【予習】テキスト P45～P48 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第6回	保育相談支援の進め方 より効果的な保育相談をするために 保護者の生活・行動特性の理解、相談の場づくり等	
	【予習】テキスト P52～P59 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第7回	保育相談の進め方 保育相談支援の実践	
	【予習】テキスト P60～P69 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第8回	保育相談支援の技術 保育相談支援の技術と留意点	
	【予習】テキスト P72～P79 を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し整理する	90分

第9回	保育相談支援の技術 電話相談の意義、技術と留意	
	【予習】テキスト P80～P84を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第10回	保育相談支援の技術 記録の必要性、記録の書き方、評価	
	【予習】テキスト P86～P90を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第11回	/保育所の保育相談支援の事例 栄養・食事・生活習慣についての相談	
	【予習】テキスト P98～P107を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第12回	保育所の保育相談支援の事例 発達の遅れ・気になる行動についての相談	
	【予習】テキスト P107～P115を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第13回	保育所の保育相談支援の事例 子どもの遊び・おけいごとについての相談	
	【予習】テキスト P115～P120を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第14回	保育所の保育相談支援の事例 育児不安・虐待・家族関係についての相談	
	【予習】テキスト P123～P131を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第15回	保育所の保育相談支援の事例 外国人の保護者からの相談 授業のまとめ	
	【予習】テキスト P132～P139を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1. 全15回の取組状況及び授業内ワークシート、コメントシート(70%程度)、レポート(30%程度)とし、総合的に評価する。 2. 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 人間性：15 % 社会性：15 % 専門性：70 %		
使用資料 <テキスト>	小林育子著『演習 保育相談支援』(萌文書林)	使用資料 <参考図書>	適宜参考資料を配布します。
授業外学修等	次回分のテキストの予習をしておくこと。		
授業外質問方法	授業の前後やオフィスアワーを中心に随時受け付ける。		
オフィス・アワー	水曜13:10～14:40 河崎研究室(E303)		

授業科目名	教育相談	科目コード	K1504P04
英文名	Educational Counseling		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	宮田 徹
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教育現場で起きている、いじめ・不登校・学級崩壊・非行など様々な問題の原因と背景を理解し、適切な援助のための方法としてカウンセリング・マインドに基づく教育相談の理論と方法について学ぶ。併せて、教育相談と並んで、教育問題への対応に重要な役割をもつ生徒指導の理論と方法についても学ぶ。さらに、家族への援助・校内スタッフとの協力・他機関等とのあり方について考える。（担当教員：教育・福祉現場での実務経験あり）</p>		
-------	---	--	--

キーワード	教育相談	生徒指導			
-------	------	------	--	--	--

到達目標	1 発達途上の児童・生徒が示す課題や問題行動、悩み等への援助を行い、その適応を図り、心理的に健康な成長を促進するための教育実践である教育相談の基本的事項を理解し、主な問題の原因・背景と対応について説明できる。（70%）				
	2 児童・生徒の健やかな成長・発達を援助する教育相談に関心をもち、実践力向上への意欲をもち。（30%）				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	教育相談とは(1) 学校教育相談の意義と課題 【資料】レジュメ 配布用シラバス	
	【予習】学校教育相談の意義について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】教師が行う教育実践としての「学校教育相談」の意義について、授業内容を確認し理解を深める 参考文献 宮田徹・水田聖一(2009)「学校教育相談とカウンセリング・マインド-教育とカウンセリングの関係について-」『富山国際大学国際教養学部紀要』5,59-70。(PDF))	90分
第2回	教育相談とは(2) 教育実践としての学校教育相談 学校教育相談の実際 【配布資料】(第1回つづき)	
	【予習】学校教育相談の意義について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】教師が行う教育実践としての「学校教育相談」の意義について、授業内容を確認し理解を深める 参考文献 近藤邦夫(1994)「教師と子どもの関係づくり-学校の臨床心理学-」東京大学出版会 鯨岡峻(1998)「両義性の発達心理学-養育・保育・障害児教育と原初的コミュニケーション」ミネルヴァ書房 尾崎新(1999)「「ゆらぐ」ことのできる力-ゆらぎと社会福祉実践-」誠信書房	90分
第3回	カウンセリングの理論と実際(1) カウンセリングの基礎 カウンセリング・マインド 【配布資料】【参考:他者理解】	
	【予習】カウンセリングの基礎について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】カウンセリングの基礎について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第4回	カウンセリングの理論と実際(2) カウンセリング的関わりの目標と実際 【配布資料】(前回の続き)【参考:面接基本的応答技法】	
	【予習】カウンセリングの基礎について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】カウンセリングの基礎について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第5回	児童・生徒の問題の理解と対応、問題の種類と発生のメカニズム・対応と援助 【配布資料】	
	【予習】児童・生徒の問題の種類や発生のメカニズム等について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】児童・生徒の問題の種類や発生のメカニズム等について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第6回	児童・生徒理解の精神医学的な基礎、発達障害・神経症・精神病各症状の理解、治療と援助の実際 【配布資料】【参考:発達障害者支援法】	
	【予習】「児童生徒理解の精神医学的基礎」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「児童生徒理解の精神医学的基礎」について、授業内容を確認し理解を深める	90分

第7回	不登校の理解と対応 【配布資料】	
	【予習】不登校の理解と対応について、テキストの該当部分を読んでおくこと 参考資料 「生徒指導提要（抜粋）」「不登校児童生徒への支援に関する最終報告（概要）（H28年7月）」	90分
	【復習】不登校の理解と対応について、授業内容を確認し理解を深める 参考：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」 文部科学省「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針の策定について（通知）」平成29年4月4日 文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」令和元年10月25日	90分
第8回	いじめの理解と対応 【配布資料】	
	【予習】いじめの理解と対応について、テキストの該当部分を読んでおくこと （参考） 「生徒指導提要（抜粋）いじめ」 生徒指導支援資料5「いじめに備える基礎知識」 （参考リンク）「いじめ」をテーマにした生徒指導支援資料（国立教育政策研究所：生徒指導・進路指導研究センター）	90分
	【復習】いじめの理解と対応について、授業内容を確認し理解を深める 参考：文部科学省ホームページ「いじめの問題に対する施策」 「いじめ防止対策推進法」（チラシ）（概要と本文）	90分
第9回	学級崩壊の理解と対応 【レジュメ】 参考配布資料「回復事例」（H12年3月学級経営研究会「学級経営の充実に関する調査研究」（最終報告書）から抜粋）	
	【予習】学級崩壊の理解と対応について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】学級崩壊の理解と対応について、参考資料も含めて、授業内容を確認し理解を深める	90分
第10回	反社会的行動の理解と対応 【レジュメ】 （参考）「非行への対応」	
	【予習】参考資料「生徒指導提要（抜粋）少年非行」及びテキストの該当部分（第8章）を読んでおくこと	90分
	【復習】「反社会的行動の理解と対応」について、授業内容を確認し理解を深める （参考）法務省ホームページ「犯罪白書」リンク 「令和2年度犯罪白書のあらまし」（PDF）	90分
第11回	神経症的問題の理解と対応 【資料】レジュメ+参考「神経症について」	
	【予習】「神経症的問題の理解と対応」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「神経症的問題の理解と対応」について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第12回	開発的カウンセリング 【資料】レジュメ （参考）「共同絵画」「3つの話し方」	
	【予習】「開発的カウンセリング」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「開発的カウンセリング」について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第13回	開発的カウンセリング(2) 開発的カウンセリングの実践するにあたっての留意点 【資料】（前回と同様）	
	【予習】「開発的カウンセリング」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「開発的カウンセリング」について、授業内容を確認し理解を深める	90分

第14回	<p>保護者に対する援助の課題と実際 【資料】レジュメ (参考)「中年の挫折感」(氏原寛(1990)『心の一生』ミネルヴァ書房より)</p>	
	【予習】「保護者に対する援助」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「保護者に対する援助」について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第15回	<p>校内での協力体制、他機関との連携、援助ネットワーク 【資料】スライド / 印刷用 参考動画「地域学校協働活動」(文部科学省)</p>	
	【予習】「校内での協力体制」「他機関との連携」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
第16回	<p>前期末レポート課題 テーマ：あなたは、発達途上のさまざまな課題や問題行動、悩み等を示す子ども(幼児、児童、生徒)に関わる際、どのような教師でありたい(どのような教師が望ましい)と思いますか。授業での学びを踏まえて、あなたの目指す教師像(理想の教師像)を述べなさい。 形式等：A4,1ページ。1200字～1600字(40字40行)。表紙は不要。1行目に学籍番号・氏名を明記。2行目をタイトルとし、3行目から本文をはじめること。 提出場所：Webシラバス第16回【課題1】のリンクからWordファイルで提出すること。ファイル名は「教育相談レポート.docx」とすること。(学籍番号+氏名はWebシラバスの方で自動的に付与されます) 提出期限：2021年8月6日(金)18:00まで フィードバック：課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。</p>	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目1は期末筆記試験またはレポートで評価する。(70%) 到達目標項目2は主に受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(30%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：15% 社会性：15% 専門性：70%</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	一丸藤太郎他編著『学校教育相談』(ミネルヴァ書房)	使用資料 <参考図書>	随時、参考文献を紹介する。 <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/
----------------	---------------------------	----------------	--

授業外学修等	<p>予習として、テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習として、テキストや配布資料、提示した参考文献や推薦図書等を読み、理解を確かに行うこと。</p>
--------	---

授業外質問方法	連絡方法は初回の授業で伝達する。
---------	------------------

オフィス・アワー	水曜日2限, E507研究室(この時間以外でもなるべく対応します)
----------	-----------------------------------

授業科目名	相談援助実習	科目コード	K1504P10
英文名	Practical Training in Social Work		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授 教授 教授	担当教員名	村上 満 相山 馨 室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。 実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	職場実習	職種実習	ソーシャルワーク		
-------	------	------	----------	--	--

到達目標	機関・施設・事業所の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する（35%）				
	個別的なかわりや集団における活動等での観察及び実践を通して、利用者の生活や発達の特徴を理解する（35%）				
	職員（社会福祉士等）の基本的な職務内容や役割、他の職員との連携などについて、現場体験を通して理解する（30%）				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	学外	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	学外	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	

第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	
第33回		
	【予習】	
	【復習】	
第34回		
	【予習】	
	【復習】	
第35回		
	【予習】	
	【復習】	
第36回		
	【予習】	
	【復習】	

第37回		
	【予習】	
	【復習】	
第38回		
	【予習】	
	【復習】	
第39回		
	【予習】	
	【復習】	
第40回		
	【予習】	
	【復習】	
第41回		
	【予習】	
	【復習】	
第42回		
	【予習】	
	【復習】	
第43回		
	【予習】	
	【復習】	
第44回		
	【予習】	
	【復習】	
第45回		
	【予習】	
	【復習】	

第46回	【予習】	
	【復習】	
第47回	【予習】	
	【復習】	
第48回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 ~ 3 は、本学の実習評価票（16項目）にもとづいて、実習指導者が評価する。(100%)		
使用資料 <テキスト>	白澤政和・米本秀仁編 『社会福祉士相談援助実習』中央法規	使用資料 <参考図書>	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』 ミネルヴァ書房
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。 *原則として、3月の第1土曜日を帰校日とする。		
授業外質問方法	メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。常に、報告、連絡、相談に心掛けること。		
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室		

授業科目名	スクールソーシャルワーク演習	科目コード	K1504P12
英文名	Seminar in School Social Work		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	1単位

授業の概要	<p>学校における相談援助技術の展開についての知識と技術を演習から理解する。特に、総合的かつ包括的な援助を必要とする具体的事例を用いることにより、関係機関との連絡、調整のあり方等について学ぶとともに、学校内、市町村、教育委員会のシステムについて理解する。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	アセスメント	マイクロプラクティス	メゾプラクティス	マクロプラクティス
-------	--------	------------	----------	-----------

到達目標	個別事例へのアセスメントだけでなく、学校、地域、教育行政へのアセスメントを理解できる。(50%)			
	スクールソーシャルワーク実践（マイクロ、メゾ、マクロプラクティス）について理解できる。(25%)			
	スクールソーシャルワークを学校内で記録化する手法について理解できる。(25%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：学校教育現場におけるソーシャルワークの価値について ・福祉の視点を教育と調和させながら示せる安定した福祉の価値観	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	ソーシャルワークの展開におけるアセスメントとは（学校アセスメント） ・学校の実態や状況、組織システムの把握	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	ソーシャルワークの展開におけるアセスメントとは（地域アセスメント） ・地域の実態や状況と市町村内の社会資源の把握	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	スクールソーシャルワーク実践（マイクロプラクティス） ・個別事例による具体的な援助の展開方法とアウトリーチ	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	スクールソーシャルワーク実践（メソプラクティス） ・校内や関係機関等とのケース会議を進めるための手法について ・チームアプローチやマネージメントスキルを必要とする事例に学ぶ	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	スクールソーシャルワーク実践（マクロプラクティス） ・新たな相談体制を開発するソーシャルワークの実践について ・地域に根ざした福祉・教育協働の相談活動の展開について	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	スクールソーシャルワークを維持・発展させる力（記録の意義） ・記録やデータの蓄積を行っていくことについて	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	スクールソーシャルワークを維持・発展させる力（スーパービジョン、評価） ・地域でのスーパービジョン体制のあり方と効果測定について これまでの振り返りとまとめ	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1 ~ 3 は、模擬ケース会議におけるアセスメントやロールプレイ等、事例への取り組み姿勢で評価する。(80%)</p> <p>受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%)</p> <p>なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p> <p>人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>		
使用資料 <テキスト>	『学校ソーシャルワーク演習』 門田光司 他 (ミネルヴァ書房)	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 日本学校ソーシャルワーク学会
授業外学修等	<p>上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。</p> <p>毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜・3限 E709村上研究室</p>		

授業科目名	スクールソーシャルワーク実習指導	科目コード	K1504P13
英文名	Guidance on Practical Training in School Social Work		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	1単位

授業の概要	<p>スクールソーシャルワーク実習を行うにあたり、学校教育現場で想定される対人援助の際の基本的マナーをはじめ、チームの一員としての連携の持ち方、実習を深めるための記録や実習日誌の書き方等について個別指導および集団指導を行う。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	アセスメント	社会資源	校内相談体制	プロセス評価	アウトカム評価
-------	--------	------	--------	--------	---------

到達目標	学校教育現場の中でソーシャルワーク実習を行うことの意義について理解できる。(50%)				
	学校現場と学校組織等について理解し、教育の場で活かせる社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等総合的に対応できる能力を習得する。(50%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：学校教育現場におけるソーシャルワーク実習の意義について ・富山市生活保護受給世帯等学習支援事業について ・実習事前指導、実習中指導（巡回指導）、実習事後指導について	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	学校組織や学校関係機関の理解 ・学校、教育委員会、教育センター、教育事務所、適応指導教室等の説明	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	実習先で必要とされる相談援助 ・子ども、家庭、教員に係る知識と技術に関する理解	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	実習先で必要とされる相談援助 ・チームで対応する力、ケース会議に係る知識と技術に関する理解	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	実習の内容について ・現場体験実習（個別面接、ケース会議等）について ・見学実習について	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	実習における記録について ・実習記録のノートへの記録内容及び記録方法に関する理解	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	実習計画の作成 ・実習生、実習担当教員、実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	実習報告会の説明（2月実施予定） ・実習記録や実習体験を踏まえての全体の総括	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1 ~ 2 は、模擬ケース会議におけるアセスメントやロールプレイ等、実習に向けての取り組み姿勢で評価する。(80%)</p> <p style="text-align: right;">受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%)</p> <p>なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>		
使用資料 <テキスト>	『学校ソーシャルワーク演習』 門田光司 他(ミネルヴァ書房)	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 日本学校ソーシャルワーク学会
授業外学修等	<p>上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜・3限 E709村上研究室</p>		

授業科目名	社会保障論	科目コード	K1604F05
英文名	Social Security		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援		
------	----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	柴田 稔
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	3限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	4単位

授業の概要	<p>社会福祉士の活動する場はミクロには対象者への支援であり、諸制度との関連を知っている必要度が高い。しかし、制度が十分でなければ十分でないことを声を出して関連機関に伝えるというマクロの面もある。社会保障はライフサイクルのどの段階にもすべて関連する制度であり、「生きづらさ問題」の根源でもある。専門職としての知識とともに自分自身が生きる上での必要な知識であることを理解してもらいたい。ソーシャルワークの実務経験あり。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	自助・共助・公助	少子高齢社会	財政赤字	同一労働同一賃金
-------	----------	--------	------	----------

到達目標	今日の社会保障制度にいたった歴史の学習と社会保障の仕組みを他国と比較しながら理解することができる。			
	さまざまに発生している「社会問題」の根源や解決策と社会保障の関連を理解することができる。			
	その「問題」を自分の生活上のこととして捉え、考えることを学び、ソーシャルワークについて理解することができる。			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会保障が当面する課題 生活者としての自分と社会保障	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	現代社会と社会保障 労働者としての自分と社会保障	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	社会保障の歴史 福祉国家について	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	社会保障の歴史 日本の社会保障の歴史的展開と課題	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	社会保障の構造 社会保障の体系と社会保険の構造	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	社会保障の歴史 欧米の社会保障の歴史的展開と現状	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	社会保障の歴史 欧米の社会保障の歴史的展開と現状	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	社会保障の歴史 欧米の社会保障の歴史的展開と現状	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	社会保障の歴史 欧米の社会保障の歴史的展開と現状	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	社会保障の歴史 欧米の社会保障の歴史的展開と現状	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	社会保障の歴史 アジア諸国の社会保障の歴史的展開と現状	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	社会保障の歴史 アジア諸国の社会保障の歴史的展開と現状	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	社会保障の歴史 アジア諸国の社会保障の歴史的展開と現状	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	社会保障の財源と費用 社会保障の財源と費用	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	社会保障の財源と費用 社会保障の財源と費用	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	年金保険制度 年金保険制度の沿革と概要	
	【予習】	
	【復習】	

第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	
第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	

第26回	【予習】	
	【復習】	
第27回	【予習】	
	【復習】	
第28回	【予習】	
	【復習】	
第29回	【予習】	
	【復習】	
第30回	【予習】	
	【復習】	
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>1) 平常点(10%程度)、前期末試験(60%)、後期末試験(30%)とし、総合的に評価する。 2) 平常点の内容は、出欠状況、出席カードへのコメント記載内容などとする。</p>		
使用資料 <テキスト>	社会福祉士養成講座編集委員会編集 新・社会福祉士養成講座12「社会保障」	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	新聞、インターネット等で社会保障関連の最新話題を確認しておく。		
授業外質問方法	出席カードへのコメント記入に回答することを主とする。		
オフィス・アワー			

授業科目名	福祉行財政と福祉計画	科目コード	K1604P03
英文名	Social Welfare Administration, Services and Planning		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援
------	----------------

職名	非常勤講師	担当教員名	岡本 達也
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	5限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	2単位

授業の概要	<p>国・都道府県・市町村の役割や相互の関係と実施体制を学び、国と地方における財政のポイントを整理しながら、福祉行財政の現状や動向を見ていきます。福祉計画では、福祉計画の意義や目的を理解しながら、具体的な福祉計画（地域福祉計画、老人福祉計画、介護保険事業計画、障害者計画、障害福祉計画および次世代育成支援行動計画）の内容や特徴について学びます。オンデマンド学習を主体としますが、授業時間の2/3はインプット、1/3はアウトプットとします。授業時間中にアウトプットとして小テスト、小レポートを提出していただき、出席とします。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	福祉行財政	福祉計画			
-------	-------	------	--	--	--

到達目標	1) 福祉行政の組織および国と地方自治体の関係について説明できる。
	2) 社会保障関係費や民生費の現状を説明できる。
	3) 福祉行政を担う専門機関や専門職について説明することができる。
	4) 具体的な福祉計画について根拠法と関連付けて解説できる。
	5) 福祉行財政と福祉計画の横断的な理解ができる。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	福祉行財政と福祉計画 戦後の社会福祉の法制度の展開過程を理解する。また、今日の社会福祉の中で重要な手法となっている福祉計画が登場した背景や考え方について学ぶ。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第2回	福祉行政の組織 国の福祉行政を担っている機関・組織について理解する。また、地方自治体を整理したうえで、福祉行政を担っている地方自治体の組織について理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第3回	社会福祉基礎構造 法制度や福祉行政の実施体制を規定する社会福祉の基礎構造について、実践的な観点から理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第4回	財政と社会福祉 財政、予算とは何かを理解する。また、社会保障給付費について整理し、その現状について理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第5回	一般会計予算と社会保障関係費の動向 国の一般会計予算の歳出・歳入について整理し、その現状について理解する。また、社会保障関係費について整理し、その現状を理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第6回	地方自治体の財政と民生費の動向 地方自治体の財政における歳出と歳入について整理し、その現状について理解する。また、民生費について整理し、その現状を理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第7回	専門諸機関 福祉行政を担っている専門機関に理解する。また、各専門機関と国、都道府県、市町村の実施体制との関係について学ぶ。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第8回	専門職 福祉行政を担っている（法律による国家資格、法律によって指定された教育機関や専門機関による公的資格、民間の機関が認定する資格を有した）専門職について理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分

第9回	福祉計画の目的と意義 福祉援助の実施・提供機関において個別援助に関わる社会福祉士が、地方自治を目指す「福祉計画」に関わる目的や意義を理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第10回	福祉計画の理論と技法 福祉計画の概念や類型、計画の過程モデルとその特徴、ニーズ把握の技法、計画の評価の技法、住民参加の次元と技法についてそれぞれ理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第11回	福祉計画の事例研究の視点 「地域特性・福祉特性」「福祉計画の契機・主体・対象・方法」「福祉計画の類型・関連・内容」「福祉計画の機能」「福祉計画の推進体制」の枠組みで分析していく視点を理解する。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第12回	老人福祉計画・介護保険 高齢者分野の福祉計画である老人福祉計画と介護保険事業計画の内容を理解する。また、それらが法定化されるまでの歴史的経緯や社会的背景について学ぶ。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第13回	障害者計画・障害福祉計画 障害者分野の福祉計画である障害者計画と障害福祉計画の内容を理解する。また、それらが法定化されるまでの歴史的経緯や社会的背景について学ぶ。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第14回	次世代育成支援行動計画 児童・家庭分野の福祉計画である次世代育成支援行動計画の内容を理解する。また、それが法定化されるまでの歴史的経緯や社会的背景について学ぶ。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第15回	地域福祉計画 地域福祉計画の内容を理解する。また、それが法定化されるまでの歴史的経緯や社会的背景について学ぶ。	
	【予習】テキストの予習をおこなう。	2分
	【復習】テキストの復習をおこない、図書館などで関連文献を調べ理解を深める。	2分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	学期末試験(60%) 毎回の授業中に取り組み、時間内に提出していただく課題・レポート(40%)		
使用資料 <テキスト>	『福祉行財政と福祉計画』 中央法規出版	使用資料 <参考図書>	適宜、別途案内する。
授業外学修等	授業全体において課題・レポートなどの提出を指示し、その課題・レポートなどのフィードバックを行うことがある。次回の学習範囲について教科書を読んだの予習、ノート整理など授業の復習をするとともに、日々の新聞・テレビなどの福祉行財政関連の報道に注目しておくこと。		
授業外質問方法	授業終了時に質問に応じるほか、適時メールでの質問に応じる。		
オフィス・アワー	適宜、別途案内する。		

授業科目名	社会福祉経営論	科目コード	K1604P04
英文名	Social Welfare Management		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援		
------	----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	大崎 雅子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	4限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	2単位

授業の概要	<p>わが国の社会福祉制度は根幹から改革をしなければならない時期にきており、福祉サービスのシステムのシステム変化は更に幅広く膨大なニュースを生み出している。新たな時代において福祉サービスの提供組織とその新たな経営モデルの必要性を理解する。(担当教員:福祉経営の実務経験あり)</p>		
-------	---	--	--

キーワード	改革	ニーズ・ウォンツへ	コンプライアンス・
-------	----	-----------	-----------

到達目標	<p>社会福祉士は相談業務を中心とするだけでなく、幅広く福祉サービス全体の仕事に関わっていくことを期待され、サービス提供組織の責任者や中心に位置づけられるであろう。社会福祉が社会システムの重要な位置となり、その機能が発展していく為の価値観や運営力を学び理解する。</p>		

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	福祉サービスにおける組織、経営	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第2回	福祉サービスと制度	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第3回	社会福祉法人、特定非営利活動法人、その他の組織	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第4回	事業計画	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第5回	組織、管理運営の基礎理念	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第6回	集団の力学に関する基礎理論	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第7回	リーダーシップに関する基礎理論	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第8回	サービスマネジメント・サービスの質の評価	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第9回	苦情対応とリスクマネジメント	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分

第10回	サービス提供のあり方の方向性	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第11回	様々な法人のサービスを知る（映像や資料で確認）	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第12回	人事労務管理	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第13回	人材育成	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第14回	会計管理と財務管理	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第15回	情報管理と戦略的広報	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分
第16回	期末試験	
	【予習】テキストの該当部分を読む	20分
	【復習】講義はテキストの要点をパワーポイントでまとめた内容を説明する。講義後は該当章を読んで理解を促進する。	20分

評価方法	<p>レポート、平常点に対して合計点が100%となるようにする。</p> <p>学期末試験70% レポート30%（劣悪な学習態度が認められる場合、10%上限として減点する）</p>		
使用資料 <テキスト>	『福祉サービスの組織と経営』【4版】 (中央法規出版)	使用資料 <参考図書>	適宜指示
授業外学修等	<p>日頃から、社会福祉に関する報道等に関心をもつ。また施設見学やボランティア等前向きに取り組む。</p>		
授業外質問方法	<p>日頃から、社会福祉に関する報道等に関心をもつ。また施設見学やボランティア等前向きに取り組む。</p>		
オフィス・アワー			

授業科目名	保健医療サービス論	科目コード	K1604P10
英文名	Health and Medical Service		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援
------	----------------

職名	非常勤講師	担当教員名	岩城 小百合
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	4限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	2単位

授業の概要	医療ソーシャルワーカーが、保健医療サービスの領域において、一人ひとりの利用者（患者）に合った支援ができるよう、法制度やシステム、関係施設と各専門職の役割、その中でのチームアプローチの実際について講義する。		
-------	--	--	--

キーワード	医療保険制度	MSW	連携		
-------	--------	-----	----	--	--

到達目標	高齢社会における保健医療サービスの変化・制度改革の現状について理解することができる。（20％）
	保健医療サービスの基本的な構造、提供施設や各専門職の役割について理解することができる。（40％）
	すべての人が地域で安心して生活するために、医療ソーシャルワーカーが、多職種や多機関と連携しながら、どのように支援を展開しているのかを理解することができる。（40％）

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方 保健医療サービスを学ぶにあたっての導入編 保健医療サービスと構成要素 病院における医療ソーシャルワーカーの相談面接と支援（簡単な事例から）	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	保健医療サービスの変化と社会福祉専門職の役割 保健医療サービスの整備と拡充の歴史・今日的課題 保健医療サービスにおける社会福祉専門職の役割	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	医療保険制度 保険料 給付	
	【予習】 学生自身の医療保険について調べ、授業に臨むこと	30分
	【復習】	
第4回	診療報酬制度 算定方式 社会福祉士の評価	
	【予習】 学生自身の受診受療の経験を振り返り、授業に臨むこと	30分
	【復習】	
第5回	介護保険制度 公費負担医療制度 介護保険制度と介護報酬 公費負担制度と活用事例	
	【予習】 3年次までに学んだ高齢者・障害者関連の制度を振り返り、授業に臨むこと	30分
	【復習】	
第6回	医療施設の機能・類型 医療法によるもの 保健医療政策によるもの	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	介護保険法における施設等の機能・類型 施設サービス 居宅サービス 地域密着型サービス等	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	地域包括ケアシステムと在宅医療 地域包括ケアシステムとは 必要性とその体制	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	医療ソーシャルワーカーの歴史と業務指針 歴史に学ぶ医療ソーシャルワーカーの役割 業務指針 相談面接の力量	
	【予習】3年次までに学んだ相談援助の理論と方法や相談援助演習の内容を振り返り、授業に臨むこと	30分
	【復習】	
第10回	医療ソーシャルワーカーの業務 経済的問題への支援（医療保険・診療報酬・公費負担等に関する演習） 演習の解説	
	【予習】	
	【復習】授業内で行った解説をもとに、再度支援方法を見直すこと	30分
第11回	医療ソーシャルワーカーの業務 心理的・社会的問題への支援 受診・受療援助 退院援助 社会復帰援助 地域連携	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	保健医療サービス専門職の役割とチームアプローチの実際 各専門職の根拠法・業務内容 チームアプローチの実際	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	保健医療サービス専門職の基本的姿勢と視点・役割の実際 患者の権利 専門職の倫理 各専門職の視点と役割の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	保健医療サービスにおける専門職の連携と実践 連携の意味とチームワークについて チームケアの基本となる制度 連携の実際	
	【予習】	
	【復習】	

第15回	保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携と実践 地域連携と地域ネットワーク 地域ケアネットワークの実践	
	【予習】3年次までに学んだ地域の社会資源について振り返り、授業に臨むこと	30分
	【復習】	
第16回	学期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標1・2・3については、学期末試験（70％）受講態度及び毎時間の出席表記載内容（20％） 到達目標2については、授業内演習課題の取り組み姿勢・達成度（10％）も評価する。		
使用資料 <テキスト>	新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス	使用資料 <参考図書>	社会保障の手引（2021年版）中央法規出版
授業外学修等	今まで学習した社会保障制度を復習しておくこと 制度の活用方法はもちろんのこと、制度の利用者を取り巻く背景についても、日々新聞やインターネットなどで学習をすすめておくこと		
授業外質問方法	出席表等に記入してもらい、次回に回答（出席表の記載の仕方については、第1回授業で説明）		
オフィス・アワー	授業終了後、非常勤講師控室で対応		

授業科目名	就労支援サービス論	科目コード	K1604P11
英文名	Employment Support Service		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援
------	----------------

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	5限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	1単位

授業の概要	相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度と、就労支援に係る組織、団体及び専門職について、講義を通じて理解する。また、「障がい者雇用」や「生活保護」をはじめとする就労支援分野との連携について理解する。			
-------	---	--	--	--

キーワード	一般就労	福祉的就労	最低賃金	就労支援	法定雇用率
-------	------	-------	------	------	-------

到達目標	雇用・就労の動向(若者、高齢者、障がい者、母子家庭など)について理解できる。				
	「障がい者」の就労の現状と障がい者雇用施策における就労支援について理解できる。				
	就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と実際について理解できる。				
	就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と連携について理解できる。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：働くことの意味、働く権利について ・雇用・就労の動向(若者、高齢者、障がい者、母子家庭など)について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	就労支援制度の概要（1） ・「障がい者」の就労の現状と障害者雇用施策における就労支援について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	就労支援制度の概要（2） ・障がい者雇用施策における就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と実際について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	就労支援制度の概要（3） 就労支援制度の概要（3）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	就労支援制度の概要（4） ・障がい者福祉施策における就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と実際について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	就労支援制度の概要（5） ・就労支援に関わる主な法律、生活保護制度における就労支援制度、ホームレスの実態と支援について ・就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と実際について	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	就労支援分野との連携と実際（1） ・就労支援に係る組織、団体、専門職の役割と連携について ・自治体、ハローワーク、職業リハビリテーション機関、福祉事務所、障がい福祉サービス事業所等の役割と連携	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	就労支援分野との連携と実際（2） ・就労支援とケアマネジメント、連携・ネットワークについて	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第9回	期末試験 これまでの総まとめ	
	【予習】	
	【復習】 授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第10回	【予習】	
	【復習】	
第11回	【予習】	
	【復習】	
第12回	【予習】	
	【復習】	
第13回	【予習】	
	【復習】	
第14回	【予習】	
	【復習】	
第15回	【予習】	
	【復習】	
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1 ~ 4 は、毎回の小プリントと期末試験(80%)で評価する。</p> <p>態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>		受講
使用資料 <テキスト>	<p>テキスト：『就労支援サービス論』 社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規</p>	<p>使用資料 <参考図書></p>	<p>毎回の授業で、関係資料を配布する。 最新版厚生労働白書、国民の介護と福祉の</p>
授業外学修等	<p>上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜・3限 E709村上研究室</p>		

授業科目名	権利擁護と成年後見			科目コード	K1604P12
英文名	Protection of Human Rights & Guardianship				
科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援				
職名	非常勤講師	担当教員名	柴田 稔		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	2単位		
授業の概要	法と福祉実践、法の世界と実際の世界との乖離がある現実の中で、権利とは何か、擁護とは何かから考え、関連の法・制度を通じて実践の基本である「自己決定支援」について学ぶ。ソーシャルワークの実務経験あり。				
キーワード	自律の権利保障	保護の必要性	パートナーリズム		
到達目標	相談援助における権利擁護について、日本国憲法、民法、行政法の理解を踏まえ、認知症や知的障害者等を支援する成年後見制度をはじめとする権利擁護の必要性と、その課題（保護と自律のジレンマ）等についての理解を目指す。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）			教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	相談援助における活動と法 想定される法律問題 社会福祉士の活動の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	権利とは何か 基本的人権・社会権	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	権利とは何か 基本的人権・社会権	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	権利擁護の視点から民法を理解する	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	法律関係と事実関係（自律と保護）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	成年後見制度の概要（1）法定後見制度の全体像の理解	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	同上 （2）任意後見制度の理解	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	成年後見人（特に、専門職）の責務と課題	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	日常生活自立支援事業と成年後見制度利用支援事業	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	さまざまな権利擁護の仕組み （苦情解決・評価・個人情報保護法）	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	さまざまな権利擁護の仕組み （障がい者の権利条約、障がい者差別解消法、虐待防止制度等）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	権利擁護に関わる専門職と諸機関とのネットワーク	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	擁護するとは（自律と保護） バターナリズム	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	擁護するとは（自律と保護） 権利擁護活動の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	擁護するとは 権利擁護活動の実際	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1) 平常点(20%程度)、レポートまたは期末試験(80%)とし、総合的に評価する。 2) 平常点の内容は、出欠状況・出席カードなどとする。		
使用資料 <テキスト>	「新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度[第6版]」(中	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	新聞、インターネット等で権利擁護、成年後見関連の最新話題を確認しておく。		
授業外質問方法	出席カードへのコメント記入に回答することを主とする。		
オフィス・アワー			

授業科目名	更生保護制度論	科目コード	K1604P13
英文名	Relief and Rehabilitation System		

科目区分	子どもと家庭・地域の自立支援
------	----------------

職名	非常勤講師	担当教員名	大利 文雄
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	1単位

授業の概要	<p>・更生保護制度は、犯罪や非行をした人の社会復帰と再犯防止を図ることで社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することを目的とした刑事政策の一分野であるが、近年、刑事司法と福祉等の連携による施策が次々と導入されており、社会福祉士に求められる役割や業務が多様化している。そこで本授業では、テキストに沿った講義の中で実例を解説するとともに刑務所等の矯正施設を見学し、更生保護の内容と福祉が果たす役割等の習得を図る。</p> <p>・実務経験のある教員による授業</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	司法福祉	社会内処遇	官民協働	地域連携
-------	------	-------	------	------

到達目標	更生保護の概要や担い手など、同制度の基本的事項や用語を習得する。
	保護観察及び医療観察の内容と実施方法を理解する。
	関係機関・団体との連携の在り方を理解する。
	更生保護の動向と課題を理解する。

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー
------	-------	-----	-------	-------	---------------

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
------------	-----	-------	-------	-------

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
-------	-------	----------	--------	------------	--------------

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	更生保護制度の概要，刑事司法における位置付けと役割	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第2回	保護観察制度の概要と実際	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第3回	仮釈放制度の概要と実際	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第4回	更生保護の担い手，関係機関・団体との連携	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第5回	医療観察制度の概要と実際	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第6回	矯正施設等の現場研修	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第7回	更生保護における犯罪被害者施策	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第8回	更生保護を取り巻く現状と課題	
	【予習】	
	【復習】 授業内容の振り返り	30分
第9回		
	【予習】	
	【復習】	

第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末のレポートを基本とするが、授業への参加態度や意欲も対象とする。		
使用資料 <テキスト>	新・社会福祉士養成講座 20 更生保護制度 第4版	使用資料 <参考図書>	指定しない。適宜、資料を配布する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から犯罪や非行の報道に関心を持ち、福祉・教育的な観点からその要因等を考えること。 ・予習を行った上で受講し、復習により理解を深めること。 		
授業外質問方法	講義の際に提示する。 オフィスアワーやメール (murakami@tuins.ac.jp)にて受け付ける。		
オフィス・アワー	月曜2限(10:50～12:20)		

授業科目名	とやま地域学	科目コード	K1701P11
英文名	Toyama Regional Studies		

科目区分	富山の子ども育成
------	----------

職名	教授	担当教員名	辻井 満雄
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年・3年・4年前期集中	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>2016年の新幹線の開業以来、国内外からの観光客をはじめ来県者が多くなっています。一方で、少子高齢化が一段と進み、地方の活力低下が懸念されることから、2018年から富山県の新総合計画がスタートしました。新しい時代に対応した一人ひとりのライフスタイルの確立が求められます。今年度のとやま地域学では、「富山の魅力と宝もの発見」をテーマに、大学生の皆さんに、富山を知り、魅力を発見してもらいたいと考え企画しました。データから知る富山、富山の歴史・文化、富山の特徴でもある森、川、海などの自然環境から、富山の暮らしを理解し、これからの活力ある富山の地域づくりについて各自が考えることを目指します。</p>				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	富山の歴史と文化	富山の自然	災害	地方の未来創生	世界遺産
-------	----------	-------	----	---------	------

到達目標	富山の歴史文化、環境、産業の現状などを学び、特色を理解すること。				
	富山の自然、農業、災害について学び、持続可能な安全な地域づくりを考える。				
	政策の専門家の講義、現地研修を通して、富山、北陸地域の活性化について受講を通して考える。				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	1.「人」としての能力(人間性の向上)	
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	9月3日(月)オリエンテーション データから見る富山の姿 講師：富山地域学研究所長(元富山国際大学教授) 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	9月3日(月) 富山の政策と未来を語る 講師：富山県知事 石井 隆一 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	9月3日(月) 富山の政策を考える枠組み 講師：富山地域学研究所長(元富山国際大学教授) 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	9月3日(月) 今後の富山づくり(意見交換を含む) 講師：富山地域学研究所長(元富山国際大学教授) 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	9月4日(火) 富山県の歴史と文化(万葉時代 - 中世) 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	9月4日(火) 富山県の歴史と文化(近世 -) 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	9月4日(火) 富山の近代史 - 近代化の始まり(明治時代 - 大正時代) 講師：前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	9月4日(火) 富山の文学・文化・産業 講師：富山市郷土博物館 主幹学芸員 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	9月5日(水) 富山の自然 富山湾のさかな 講師：富山県農林水産総合技術センター水産研究所 研究員 小塚 晃 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	9月5日(水) 富山の自然 土木史から見る富山 講師：(一財)全国建設研修センター特任相談役 緒方 英樹 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	9月5日(水) 富山の自然 土木史から見る富山 講師：(一財)全国建設研修センター特任相談役 緒方 英樹 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	9月5日(水) 富山の自然と世界遺産 講師：富山県総合政策局企画調整室世界遺産担当 松島 吉信 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	9月6日(木) 現地研修（富山県内） コーディネーター：富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	9月6日(木) 現地研修（富山県内） コーディネーター：富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	

第15回	9月6日(木) 現地研修(富山県内) コーディネーター: 富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	まとめ、レポート提出 これまでの学びについて整理したものを参考に、富山の未来のために必要なこと、自分は何ができるかについて考え、まとめる。	
	【予習】	
	【復習】 富山の活性化策について、今後の講義や実習の中で活かせる工夫をしてほしい。	

評価方法	受講態度及び毎時の課題、現地研修(50%)およびレポート提出(50%)をもって総合的に評価する。 試験は実施しない。		
使用資料 <テキスト>	当日テキスト配布(無料)	使用資料 <参考図書>	富山県のHPを参照。 各講師が情報提供を行う。
授業外学修等	授業前後の学習に関しては、本要綱の到達目標を踏まえ初日のオリエンテーションで説明を行う。		
授業外質問方法	・授業に関する質問などは質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問などに応じる。		
オフィス・アワー			

授業科目名	富山に学ぶインターンシップ	科目コード	K1704F10
英文名	Internship in Toyama		

科目区分	富山の子ども育成
------	----------

職名	教授 准教授	担当教員名	松山 友之 河崎 美香
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	5限目
開講時期	4年通年	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>1 富山の特色ある教育・保育・福祉の実践現場において、就業体験をするとともに、現場での学びを通して、卒業後の進路選択や専門職としての在り方について考える。</p> <p>2 事前指導においては、就業体験の意義を理解し、問題意識や目的意識を明確にできるよう個別指導、集団指導を行う。</p> <p>3 事後指導においては、各自の課題の確認や実習成果のまとめを行い、今後の学習に役立てる。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	就業体験	小学校	幼稚園	保育所	福祉施設
-------	------	-----	-----	-----	------

到達目標	富山の特色ある教育・保育・福祉の実践現場において、就業体験をすることの意義を理解することができる。(40%)				
	就業体験に必要な倫理や態度、各実践現場で求められる知識と技術を理解することができる。(30%)				
	就業体験先（小学校や幼稚園、保育所、児童福祉施設、障害者・高齢者福祉施設、社会福祉協議会など）に関する基本的な理解を深めるとともに、卒業後の進路に役立てることができる。(30%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	富山の子ども育成	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、就業体験の位置付けと仕組み、年間計画	
	【予習】就業体験先について情報を調べる。	30分
	【復習】なぜ、就業体験するのかその意義についてまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第2回	就業体験の意義と各分野ごとの説明 【様式1-1】就業体験計画書 【様式1-2】個人票 データをダウンロードして、記入を開始してください。 4月24日(金)は、パソコンを持参してください。 入力終了まで行います。様式1-1は1へ 様式1-2は2へアップロードしてください。	
	【予習】就業体験の計画をたてるための資料をあつめる。	30分
	【復習】就業体験のめあて、計画をまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第3回	就業体験の意義と各分野ごとの説明	
	【予習】就業体験のめあて、計画をま見直す。	30分
	【復習】就業体験の計画を完成し、就業体験先に連絡を取る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第4回	第4回～第27回 各自が、学校・幼稚園・保育所・事業所・施設において、就業体験を実施する。 (1) 1か所で定期的実施する場合 例1 週1回で4時間程度/日 約5週間実施 例2 隔週1回8時間程度/日 約5週間実施 例3 週1回で8時間程度/日 約3週間実施 例4 週2回で4時間程度/日 約3週間実施 例5 週1回で4時間程度/日、途中から週2回に 約3～5週間実施 (2) 1か所で短期間に集中して実施する場合 例1 大学休業期間中(9月)に8時間程度/日 約10日間実施 例2 大学休業期間中(9月)に4時間程度/日 約20日間実施	
	【予習】就業体験先ですべきことと注意事項を確認する。	30分
	【復習】就業体験先で体験したことをまとめる。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第5回	【予習】	
	【復習】	
第6回	【予習】	
	【復習】	
第7回	【予習】	
	【復習】	

第8回		
	【予習】	
	【復習】	
第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	
第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	

第26回	【予習】	
	【復習】	
第27回	【予習】	
	【復習】	
第28回	実習報告会のための振り返りとまとめ	
	【予習】就業体験したファイルを整理する。	30分
	【復習】就業体験した内容を確認し、成果を確認する。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第29回	実習報告会のための振り返りとまとめ	
	【予習】実習報告会を整理する。	30分
	【復習】実習報告会を準備をする。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第30回	実習報告会	
	【予習】実習報告会のパワーポイントを整理する。	30分
	【復習】就業体験のまとめを書き、提出する。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	60分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点、講義態度、報告会等（20%）、実習先での評価（80%）で総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	随時、授業中に資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	適宜指示
授業外学修等	上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。 毎回講義の開始時に、自己学習課題を課す。		
授業外質問方法	小学校は松山ゼミ室へ、幼・保は河崎ゼミ室へ、福祉は室林ゼミ室へ		
オフィス・アワー	金曜1限		

授業科目名	教職実践演習（幼・小）	科目コード	K1704L03
英文名	Seminar in Professional Teaching Practice		

科目区分	富山の子ども育成
------	----------

職名	講師 非常勤講師	担当教員名	竹田 好美 水上 義行
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	4年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>[竹田] 教育現場（小学校・幼稚園等）で想定される現状と課題を把握し、グループ討議、事例検討、ロールプレイング、模擬授業等、具体的な体験活動を主とした履修生主体の授業展開を図ることを通して、教職への期待を高める。</p> <p>[水上] 教育現場（小学校・幼稚園等）で想定される現状と課題を把握し、グループ討議、事例検討、模擬授業等、教材研究の手法等を主とした履修生主体の授業展開を図ることを通して、教職への期待を高める。</p> <p>（竹田は幼稚園教諭、水上は小学校教諭としての実務経験をもつ）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	教育の専門性	教育の実践力	履修カルテ	保育の専門性	保育の実践力
-------	--------	--------	-------	--------	--------

到達目標	[竹田] [水上] 教員免許状取得に必要な、教科に関する科目及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識・技能の習得状況を確認し、教員として実践できるようになる。（20%）				
	[竹田]保育現場において必要とされる実践力について理解し、その基本的能力を獲得することができるようになる。（50%） [水上]学校の内外で起こる様々なトラブル等について、適切に解決できる方策について考え、解決できるようになる。（50%）				
	[竹田]保育の専門職としての最低限の職務遂行能力を持ち、社会に求められる保育者像を意識しながら自分らしさを発揮できるようになる。（30%） [水上] 教員という専門職としての最低限の職務遂行能力をもち、自己の明確なアイデンティティを発揮できるようになる。（30%）				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援	3.富山の子ども育成

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	[竹田] これまでの講義・実習などの学習を振り返る [水上] これまでの学習や実習を振り返るとともに、若手教員の弱点を確認する・初任者研修報告をもとに	
	【予習】 [竹田] 履修カルテの記入を済ませる。4年間の実習体験を振り返る。 [水上] 教育実習の振り返り、この4年次後期の段階ならどんな授業を考えるかまとめる。	90分
	【復習】 [竹田] 卒業までの自己課題をまとめておく。 [水上] 学習のまとめをする。	90分
第2回	[竹田] 保育実践力について - 教職の意義や教員の役割、職務内容を通して考える - [水上] 『教育理念』 自分がもっている教育理念を見つめよう・担任する子どもたちとの出会いの場面で - (演示)	
	【予習】 [竹田] 保育実践力について自分の考えをまとめておく。 [水上] 学級担任として、初めて出会う児童へのメッセージを考える。	90分
	【復習】 [竹田] グループで保育実践力についてまとめておく。 [水上] 学習のまとめをする。	90分
第3回	[竹田] 保育実践力と自己課題 [水上] 教材研究の手法(1) 国語科物語文を例に	
	【予習】 [竹田] グループでまとめた保育実践力について発表できるようにしておく。 [水上] 小学校高学年の教科用図書に掲載されている物語文を例に、児童に着目させたい文や言葉を抽出する。	90分
	【復習】 [竹田] 自己課題克服のための手立てとそれを実践するための計画を立てておく。 [瀬戸] 教科用図書に掲載されている説明文を例に、是非読ませたい文や言葉に書き込みをしてみる。	90分
第4回	[竹田] 保育の場における実践力 (1) 子どもの遊びと指導案の作成(運動会の競技と進行を考える) [水上] 『学級経営』 学級内で起こる様々な問題への対応・解決方法を考える - (グループ討論)	
	【予習】 [竹田] 3歳以上児の運動会の競技案を考えておく。 [水上] 学級内で起こる様々な問題を想起し、解決方法を考える。	90分
	【復習】 [竹田] 運動会の競技の流れをグループで決定し、運動会の競技・演技図、進行表を作成しておく。 [水上] 1つの問題について、多様な解決方法をまとめる。	90分
第5回	[竹田] 保育の場における実践力 (2) 遊びの展開と保育内容 (運動会の競技に必要な道具などの作成) [水上] 教材研究の手法(2) 算数科の図形の面積の学習を例に	
	【予習】 [竹田] 運動会の競技に必要な道具などを考え、材料などを準備しておく。 [水上] 小学校高学年算数「図形の面積」の例題を解いてみる。	90分
	【復習】 [竹田] 運動会の競技に必要な道具を完成させておく。 [水上] 図形の面積や体積の指導について、児童自身が問題をつくれるようになる方略を考える。	90分
第6回	[竹田] 保育の場における実践力 (3) 遊びの展開と保育内容 (運動会の競技の動画撮影) [水上] 『保護者対応』 保護者から突然にかかる(苦情の)電話に対応する(ロールプレイ)	
	【予習】 [竹田] 運動会の競技動画を撮影できるよう準備しておく。 [水上] 保護者が、学校のことについて気をつけたり不安をもったりするであろう事例を想起してみる。	90分
	【復習】 [竹田] 運動会の競技動画を編集しておく。 [水上] 演習で取り上げられた事例の中から、自分なりの対処方法を2～3選び、まとめる。	90分

第7回	<p>[竹田] 保育の場における実践力 (4) 家庭や地域への発信力(運動会のプログラム作成) [水上] 教材研究の手法(3) 理科の月のみちかけの学習を例に教材の作り方を考えよう</p>	
	<p>【予習】[竹田] 運動会を家庭や地域に発信するために必要なことを考えておく。 [水上] 月のみちかけについて、一週間程度写真をとってみる。</p>	90分
	<p>【復習】[竹田] 運動会のプログラムを完成させておく。 [瀬戸] 児童にどのような順序で指導するのか整理する。</p>	90分
第8回	<p>[竹田] 保育の場における実践力 (5) プレゼンテーション(運動会の動画発表) [水上] 『安全教育』 児童が自分の身は自分で守ることができるよう、危機回避能力を育てよう(ロールプレイ)</p>	
	<p>【予習】[竹田] 運動会の動画を完成させておく。 [水上] 各小学校に常備されている「マニュアル」を読む。</p>	90分
	<p>【復習】[竹田] 発表動画を通して、自分たちの動画の改善点などをまとめておく。 [水上] 火災、交通事故、不審者対応などの中から1つ選び、その対応についてまとめる。</p>	90分
第9回	<p>[竹田] 保育の場における実践力 (6) 子どもの思いと保育者の願い(事例検討) [水上] 教材研究の手法(4) 社会科の私たちの〇〇市の学習を例に、授業の展開を考えよう</p>	
	<p>【予習】[竹田] 今までの実習日誌を読み、子どもの思いと保育者の願いについて考えておく。 [水上] 自分の住んでいる市や地域の中から、教材になりそうな景観を写真にとってみる。</p>	90分
	<p>【復習】[竹田] 第9回の授業で学んだことをまとめておく。 [水上] 小学校社会科授業の基本的な授業展開をまとめる。</p>	90分
第10回	<p>[竹田] 保育の場における実践力 (7) 環境を構成する能力 園庭環境の在り方を考える [水上] 『教員の使命・非遵行為の根絶』-胸を張って子どもの前に立つために(ワークショップ)</p>	
	<p>【予習】[竹田] 今までの実習やインターンシップ、研修や見学などを行った幼稚園・保育所・認定こども園の園庭環境を振り返っておく。 [水上] 地方公務員法の服務や懲戒に関する条項を読んでおく。</p>	90分
	<p>【復習】[竹田] 理想の理想の園庭環境についてまとめ、環境図を完成させておく。 [水上] 教員のコンプライアンスについてまとめる。</p>	90分
第11回	<p>[竹田] 保育の場における実践力 (8) 環境を構成する能力 保育室環境の在り方を考える [水上] 『いじめについて考える』(1)-いじめの現状と対応(集団討論)</p>	
	<p>【予習】[竹田] 今までの実習やインターンシップ、研修や見学などを行った幼稚園・保育所・認定こども園の保育室環境を振り返っておく。 [水上] いじめの問題点について調べてみる。</p>	90分
	<p>【復習】[竹田] 理想の理想の保育室環境についてまとめ、環境図を完成させておく。 [水上] いじめ問題点への対応をまとめる。</p>	90分
第12回	<p>[竹田] 保育の場における実践力 (9) 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携(事例検討) [水上] 『いじめについて考える』(2)-学校という組織、教員としての在り方(集団討論)</p>	
	<p>【予習】[竹田] 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携について、実習などでの体験を振り返っておく。 [水上] いじめについて諸外国の状況について調べておく。</p>	90分
	<p>【復習】[竹田] 第12回の授業で学んだことをまとめておく。 [水上] いじめを生む学校という組織、教員の在り方についてまとめる</p>	90分

	<p>[竹田] 保育者の専門性を高めるために - 子ども・子育て支援新制度を中心に - [水上] 『教員としての専門性を高める』 - 公開研究授業の授業観察 -</p>	
第13回	<p>【予習】 [竹田] 子ども・子育て支援新制度を中心とした保育政策について調べておく。 [瀬戸] 指導案を読んでおく。</p>	90分
	<p>【復習】 [竹田] 第13回の授業で学んだことをまとめておく。 [水上] 研究授業のよい点と課題を整理する。</p>	90分
	<p>[竹田] 保育者の専門性を高めるために - 指針・要領について考える - [水上] 『教員としての専門性を高める』 - 専門性の高い教員の具体例から考える - (ワークショップ)</p>	
第14回	<p>【予習】 [竹田] 要領・指針を読んでおく。保育の専門性は何か、考えておく。 [水上] 熟達教員に関する論文を読み、概要をまとめておく。</p>	90分
	<p>【復習】 [竹田] 第14回の授業で学んだことをまとめておく。 [水上] 自分と比較し、自分が目指す教員像をまとめる。</p>	90分
	<p>[竹田] 教師の資質向上に向けての確認とまとめ - 望ましい教師像に向けて - [水上] 『理想の教師像と自分』 - 望ましい教師像に向けて -</p>	
第15回	<p>【予習】 [竹田] これまでの学びをまとめ、望ましい教師像について考えておく。 [水上] これまでの本演習における学習成果を確認しておく。</p>	90分
	<p>【復習】 [竹田] 第15回の授業で学んだことをまとめておく。望ましい教師像とその実現に向けて取り組むべきことをまとめておく。 [水上] 自分をよりよい教員へと成長させる方策についてまとめる。</p>	90分
	<p>[竹田] [水上] 期末試験は行わない。</p>	
第16回	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】</p>	

評価方法	<p>[竹田] [水上] 15回の取組状況（受講態度・提出物・討議内容等）（50%）、及びレポート等（50%）で総合的に評価する。なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	[竹田] [水上] 随時資料を配付する。	使用資料 <参考図書>	[竹田] 文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年（フレーベル館）
授業外学修等	<p>[竹田] [水上] 上記時間外においても、授業内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。履修カルテを整えておくこと。</p>		
授業外質問方法	<p>[竹田] オフィスアワー等に直接研究室に訪ねて、またはメールにて質問可 takeda@tuins.ac.jp [水上] 授業終了後、またはメールにて質問可 mizukami@tuins.ac.jp</p>		
オフィス・アワー	<p>[竹田] 水曜日 2限（E301 竹田研究室）</p>		

授業科目名	保育実践演習	科目コード	K1704P04
英文名	TraininginPracticeChildcare		

科目区分	富山の子ども育成
------	----------

職名	准教授 准教授 講師	担当教員名	石倉 卓子 本江 理子 竹田 好美
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	保育士資格に関する必修科目及び選択必修科目の履修状況や、実習を通しての自らの学びを振り返り、保育士として必要な知識や技術、教養や判断力、倫理観等を習得したことを、ディスカッションや実技、ロールプレイなどを通して確認する。また、現場の課題を踏まえ、自己課題を明確にし、保育実践の基礎的な力を付ける。			
-------	--	--	--	--

キーワード	保育実践	履修状況の確認	学びの振り返り	知識・技能の習得
-------	------	---------	---------	----------

到達目標	Google保育実践演習振り返りシートで、これまでの学びを振り返り、習得した力や自己課題を明確にすることができる。(10%)			
	様々な保育技術（手遊び、製作、おたより作成）や事例検討、専門用語の確認を通して、保育実践の基礎的な力を確認することができる。(40%)			
	実習エピソードの事例検討もしくは保育に関する現代的課題に関する討論を通して、保育士として必要な知識や技術、判断力、倫理観等を確認することができる。(50%)			

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	これまでの学修の振り返り及びオリエンテーション：Google保育士養成課程振り返りシートに記入【A・B合同 石倉・本江・竹田】 （石倉：幼稚園・特別支援学校の実務経験あり、本江：保育所・幼稚園の実務経験あり、竹田：幼稚園の実務経験あり） 日程入りシラバス 振り返りシート科目の到達目標確認 第1回授業資料 振り返りシート 振り返りシート 振り返りシート	
	【予習】学生便覧の保育士養成課程別表に目を通してくる。成績表を準備しておく。 PCorスマホを充電しておく（AB合同の時は毎回）。	90分
	【復習】当日中に、2018年度入学生用のwebシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す（毎回）。 授業内容をマイノートにまとめる。	90分
第2回	前回記入したGoogle 保育士養成課程振り返りシートの結果について振り返り、グループ別に共有・課題討論 【A・B合同 石倉・本江・竹田】 【振り返りシート結果共有データ確認】 第2回資料 GoogleFoams	
	【予習】記入したGoogle保育士養成課程振り返りシートを振り返る。 スパート計画例1 スパート計画例2 スパート計画例3	90分
	【復習】なりたいたい自分になるスパート計画 に入力し、第3回目の授業が始まるまでに、この欄の「課題提出」にアップロードして提出すること。	90分
第3回	Aグループ（石倉） 保育環境についての学びの確認（基本の考え方） 6月に幼児に経験させたい製作遊びは？ Bグループ（竹田）保育内容等の指導力についての確認	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】A・Bグループ共通：授業内容をノートにまとめる。 授業第3回資料（竹田担当第1回） 授業第3回資料（竹田担当第1回） Forms課題 Forms出席票	90分
第4回	Aグループ（石倉）保育環境についての学びの確認（課題製作）保育教材作成用指導案枠 Bグループ（竹田）児童理解等についての事例検討	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。 Aグループ（石倉）課題製作は、空き容器などの廃材を使用した動くおもちゃ作りです。90分以内に製作できるよう、作り方ガイドや材料を準備してきてください。 保育教材作成用指導案例	90分
	【復習】Aグループ（石倉）本日中に課題製作を終え、指導案に画像を貼り付け、5/19（水）までに、第4回予習欄の課題提出3へ3ページに収めて提出（次回の授業で、課題全体についてコメントする。） Bグループ（竹田）：授業内容をノートにまとめる。第4回復習欄課題4に、各自の事例検討とその学びをまとめたものを5/19（水）までにアップロードする。 第4回授業資料（竹田担当第2回） Forms(竹田担当)	90分
第5回	Aグループ（石倉）保育内容の指導力についての確認（事例Q1～Q5をもとに） 5月18日（火）2限 Bグループ（竹田）児童に対する責任等についてのグループ討議 5月19日 第5回資料 第4回の授業の振り返りは、後日添付します。添付したらメールを送ります。	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】Aグループ（石倉）個人提出用のシートを、5/25（火）までに、第5回予習欄3へ1ページ設定で提出すること （課題全体について、メールでコメントする。） Bグループ（竹田）：授業内容をノートにまとめる。第5回の授業を通して学んだことをまとめレポートを作成、第5回課題4に5/21（金）までにアップロードする。 第5回事前資料（竹田担当第3回） グループのまとめ様式	90分
第6回	Aグループ（本江）保育士の仕事・保育の基本についての確認 本江回 課題 おたよりについて Bグループ（石倉）保育環境についての学びの確認（基本の考え方） 5月19日 6月に幼児に経験させたい製作遊びは？	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく	90分
	【復習】A・Bグループ共通：授業内容をノートにまとめる。 本江 第1回 授業のまとめ（仮）	90分

第7回	Aグループ(本江)子育て支援についての確認(グループ討議) Bグループ 石倉 保育環境についての学びの確認(課題製作)保育教材製作用指導案枠	
	【予習】A・Bグループ共通:授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】Aグループ(本江)授業内容をノートにまとめる。課題に取り組む。 (課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。) Bグループ(石倉)本日中に課題製作を終え、指導案に画像を貼り付け、6/2までに、第8回予習欄3へ3ページ以内に収めて提出(次回の授業で、課題全体についてコメントする。)	90分
第8回	Aグループ(本江)子育て支援について(発表) Aグループ 課題1に「おたより」を添付すること Bグループ 石倉 保育内容の指導力についての確認(事例Q1-Q5をもとに)	
	【予習】A・Bグループ共通:授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】Aグループ(本江)3回の授業を振り返り、内容をノートにまとめる。課題に取り組む。 Bグループ(石倉)6月21日(月)までに個人提出用シートを、第9回予習欄3へ1ページ設定で提出(課題全体について、メールでコメントする。)	90分
第9回	Aグループ(竹田)保育内容等の指導力についての確認 6月23日(水)2限 E404 第9回(竹田担当)資料 第9回(竹田担当)資料 Bグループ(本江)保育士の仕事・保育の基本についての確認 6月4日(金)1限 E406 本江回 課題 おたよりについて	
	【予習】A・Bグループ共通:授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】A・Bグループ共通:授業内容をノートにまとめる。	90分
第10回	Aグループ(竹田)児童理解等についての事例検討 第10回授業資料(竹田) 6月25日(金)1限 E406 第10回(竹田担当)資料 Bグループ(本江)子育て支援についての確認(グループ討議) 6月23日(水)E401	
	【予習】A・Bグループ共通:授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。 本江チームは、充電したパソコンを持参してください。	90分
	【復習】Aグループ(竹田):授業内容をノートにまとめる。第10回復習欄課題4に、各自の事例検討とその学びをまとめたものを7/2(金)までにアップロードする。 Bグループ(本江)授業内容をノートにまとめる。課題に取り組む。 (課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。)	90分
第11回	Aグループ(竹田)児童に対する責任等についてのグループ討議 6月30日(水)E404 第11回事前資料(竹田担当第3回) グループのまとめ様式 Bグループ(本江)子育て支援について(発表) 6月30日(水)E401 Bグループ 課題1に「おたより」を添付すること	
	【予習】A・Bグループ共通:授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。 本江チームは、充電したパソコンを持参してください。	90分
	【復習】Aグループ(竹田):授業内容をノートにまとめる。第11回の授業を通して学んだことをまとめレポートを作成、第11回課題4に7/7(水)までにアップロードする。 Bグループ(本江)3回の授業を振り返り、内容をノートにまとめる。課題に取り組む。	90分
第12回	資質能力の確認:実習エピソードについて共有する。 9グループ (1グループ5.6名)に分かれて一人一人シートを共有し、感想を発表する。 個人用エピソードシートは課題提出欄へ、班別用エピソードシートは課題提出欄へ提出すること。 担当:本江、 担当:竹田、 担当:石倉	
	【予習】 実習エピソード課題の場合:実習場面で実際にあった話したいエピソードをシートに記入してくる。	90分
	【復習】 シートは授業終了後、この欄の に提出すること。実習エピソード課題の場合:次回のための準備物等用意しておくこと。	90分

第13回	<p>資質能力の確認：実習エピソード解決に向けての検討 次回の授業でロールプレイができるよう準備・練習する。 第15回の授業で発表 9グループ各6分程度</p> <p>担当：本江、 担当：竹田、 担当：石倉</p>	
	【予習】 解決策を討論できるよう、情報を集めておく。	90分
	【復習】 課題の討論や助言などで学んだことをまとめ、ロールプレイの役割分担を考えておく。	90分
第14回	<p>資質能力の確認：実習エピソードについて各グループがロールプレイを発表し、討論する。 第15回の授業で発表 9グループ各6分程度</p> <p>担当：本江、 担当：竹田、 担当：石倉</p>	
	【予習】 どのような発表形態にするか考えておく。	90分
	【復習】 実習エピソードの場合：各教員の担当する3グループから、全体で話し合いたいエピソードを1つ選ぶ（教員）。	90分
第15回	<p>資質能力の確認：実習エピソードの解決策に関する発表 3グループ×6分 = 18分、質疑応答各15分 = 45分、教員の助言3名15分</p>	
	【予習】 発表の練習をし、当日スムーズにわかりやすく発表できるよう準備しておく。	90分
	【復習】 各グループの発表で学んだことを本日中に、このFormsに記入して提出すること。	90分
第16回	定期試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標 ~ について、受講態度等60%（石倉・本江・竹田それぞれ20%で合算）、保育実践演習振り返りシートGoogleフォーム・「なりたい自分になるスパート計画」提出10%、エピソード検討による学び30%（石倉、本江、竹田）で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：20%、社会性：20%、専門性60%）</p>		
使用資料 <テキスト>	厚生労働省 平成30年『保育所保育指針解説』（フレーベル館）、文部科学省 平成3	使用資料 <参考図書>	学生便覧 2,3年次の実習ファイル（保育所・施設・幼
授業外学修等	各回の事前準備を適宜行うこと。		
授業外質問方法	オフィスアワー等にメールで質問して下さい。（ishikura@tuins.ac.jp,ri4hongo@tuins.ac.jp,takeda@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	本江... 木曜日2限（E-402本江研究室）、竹田... 月曜日4限（E-301竹田研究室）、石倉... 水曜日5限（E-403石倉研究室）		

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	Research Seminar II (for seniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	彼谷 環
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	講師	担当教員名	奥田 秀巳
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	准教授	担当教員名	河崎 美香
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表	
-------	----	------	------	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	宮田 徹
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	講師	担当教員名	金子 泰子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	室林 孝嗣
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <p>(1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 <p>(2) 研究ではオリジナリティを重視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 <p>(3) 研究テーマの決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4) 卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等に出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>4年生卒業研究発表 【レジュメ】2021卒業研究第5回</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2 【レジュメ】2021卒業研究第6回</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	松山 友之
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	瀬戸 健
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 <ul style="list-style-type: none"> ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 <ul style="list-style-type: none"> ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	相山 馨
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	准教授	担当教員名	大平 泰子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	90分
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	講師	担当教員名	竹田 好美
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表	
-------	----	------	------	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	仲井 文之
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4) 卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	辻井 満雄
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2) 研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3) 研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4) 卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	彼谷環
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	<p>90分</p> <p>90分</p>

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	教授	担当教員名	堀江 英一
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	准教授	担当教員名	本江 理子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1)自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 ・(2)研究ではオリジナリティを重視する。 ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 ・(3)研究テーマの決定 ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・(4)卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5)文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			

授業科目名	卒業研究	科目コード	K1804F02
英文名	ResearchSeminarII(forseniors)		

科目区分	研究
------	----

職名	講師	担当教員名	岩崎 直哉
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	4年通年	授業の方法	演習
必修・選択	必修	単位数	4単位

授業の概要	各自の研究テーマについて、指導教員の指導を受けながら研究を進め、最終的には卒業論文を作成して提出し、研究発表を行う。		
-------	--	--	--

キーワード	研究	論文作成	研究発表		
-------	----	------	------	--	--

到達目標	専門分野の学術論文を読んで、内容を他の人に分かりやすく伝えることができる。(30%)				
	各自の研究テーマに沿った研究計画を立てることができ、計画に従って実行することができる。(30%)				
	各自の研究テーマについて、目的、背景、研究結果、考察、結論のように順序立てて論文にまとめることができる。(40%)				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の研究	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>研究の進め方については、それぞれの研究分野によって方法が異なるので、指導教員とよく相談しながら進める。</p> <p>以下には、卒業研究の進め方に関して、多くの分野で共通すると考えられる項目を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自分が興味・関心を抱く分野の知識や技能を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミの中で著名な専門書の輪読会を行う。 ・国内外の学術雑誌等の研究論文を精読して、ゼミ内で紹介し合う。 (2) 研究ではオリジナリティを重視する。 <ul style="list-style-type: none"> ・研究論文を読むときは、その論文のオリジナリティは何かを常に考えながら読む習慣をつける。 ・研究の予備段階では、著名な論文をなぞって研究方法を学ぶこともあり得るが、卒業論文では、必ず自分なりの新しい視点を加える。 ・論文等を引用する場合は、必ず出典を明記する。 ・他人の論文やwebデータなどをコピー＆ペーストしただけのものはスクラップ帖であり、研究論文とはいえない。 (3) 研究テーマの決定 <ul style="list-style-type: none"> ・最も重要な段階であり、誰もがおいに悩む部分であるが、指導教員とよく相談して決める。自分でテーマを探す、指導教員からヒントを与えてもらう等、いろいろな場合があり得る。 ・卒業研究は2年間の長期にわたるため、研究意欲を高め、持続させることが大切である。 ・関連学会の催し等(講演会、研究発表会、講習会)に積極的に出席して新情報を入手する。 ・他大学の卒業研究発表会等へ出席し、自分の研究の進め方の参考にする。 ・研究対象の場に足繁く通ってよく観察し、できるだけ多くの情報を収集する。 ・(5) 文献研究、研究テーマ決定、研究計画立案、データ収集、中間発表、卒業論文の執筆、研究発表のスライド作成、口頭発表練習等、どれも相当の時間が必要になるので、計画的に早めに始めることが大切である。 <p>4年次の卒業研究に関する年間計画を下記に示す。詳細については別途通知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文提出 12月下旬(予定) ・卒業研究要旨集原稿提出 1月上旬(予定) ・卒業研究発表会 2月上旬(予定) 	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第2回	<p>研究計画の具体化 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第3回	<p>研究計画の具体化 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第4回	<p>研究計画の具体化 3</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第5回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 1</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分
第6回	<p>研究の進捗状況報告と個別指導 2</p> <p>【予習】研究内容の検討</p> <p>【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する</p>	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	90分

第7回	研究の進捗状況報告と個別指導 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第8回	研究の進捗状況報告と個別指導 4	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第9回	研究の進捗状況報告と個別指導 5	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第10回	研究の進捗状況報告と個別指導 6	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第11回	論文の目次を作成 1	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第12回	論文の目次を作成 2	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第13回	論文の目次を作成 3	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
第14回	ゼミ内中間発表	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】中間報告から学んだ内容を整理する	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について再検討し、課題を整理する	90分

	研究の進捗状況報告と個別指導 8	
第16回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（一次）	
第17回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】研究内容について検討し、課題を整理する	90分
	3年次卒業研究中間発表会のポスター閲覧	
第18回	【予習】研究内容の検討	90分
	【復習】他者の研究からの学びを整理する	90分
	論文添削指導 1	
第19回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 2	
第20回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	卒業論文ゼミ内提出（二次）	
第21回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 3	
第22回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 4	
第23回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
	論文添削指導 5	
第24回	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分

第25回	論文添削指導 6	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第26回	論文添削指導 7	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】研究内容について検討し、論文を作成する	90分
第27回	卒業論文完成	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】完成した論文から、ポイントを整理する	90分
第28回	卒業研究発表会の発表準備 1	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第29回	卒業研究発表会の発表準備 2	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会に向けて準備する	90分
第30回	卒業研究発表会	
	【予習】論文の作成	90分
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の研究について再整理する	90分
第31回	【予習】	
	【復習】	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	日ごろの研究に取り組む姿勢、卒業研究論文の内容、卒業研究発表会における発表・質疑応答等について指導教員が総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要があれば、別途指示する。	使用資料 <参考図書>	必要があれば、別途指示する。
授業外学修等	卒業研究は時間割上では前期・後期ともに週に1コマが用意されているが、この時間だけで論文を完成するのはほとんど不可能であるので、この時間には教員から与えられた課題や自分自身で設けた課題について意見を述べたり、アドバイスを受けたりし、課題の追求はこの時間以外の放課後、休日、長期休暇期間中に、図書館、自宅、それぞれの研究対象がある場などで行うようにする。		
授業外質問方法	研究室を訪問、メール等、指導教員の指示に従う。		
オフィス・アワー			